

経001	項目名	ANAとの連携による地域活性化推進事業費
------	-----	----------------------

主要な施策	ANAとの連携による地域活性化推進事業費	ページ	24
-------	----------------------	-----	----

所属名	経済観光部 経済・雇用戦略課
-----	-------------------

年度	H25
----	-----

事業の概要

会計名	一般会計
款	総務費
項	総務管理費
目	企画費

(単位:千円)	
当初予算額	6,300

補正予算額	0
-------	---

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	6,300
-------	-------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

本年度決算額	3,150
--------	-------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	0
一般財源	3,150
計	3,150

【問合せ先】地域経済係 0857-20-3249
【9次総の施策体系】5103
【予算計上の経過】
予算事業別概要目次
当初予算・P110（経001）
【事業の概要】
山陰海岸ジオパークの世界ジオパーク認定、ガイナール鳥取のJ2昇格などにより、国外・県外からの観光客増加が見込まれることなどを踏まえ、鳥取空港の就航会社である全日本空輸株式会社（ANA）との連携を強化し、ANAの有する世界的なネットワーク及び鳥取空港を最大限活用した更なる地域活性化を図ることを目的として、平成23年4月5日に、株式会社ANA総合研究所と地域協働事業の実施に関する協定を締結。3か年にわたり、本市の新たな魅力を向上させる取組を推進する。
【事業の成果】
○H23年度
・鳥取市資源調査の実施（5月～7月）
・地域活性化に向けたアクションプランの策定（8月） ほか
○H24年度
・早稲田大学とのワークショップによる地域活性化研究（5月～9月）
・鳥取市の地域活性化に関する調査研究報告 ほか
○H25年度
・首都圏スーパーでの梨の販売とマッチング（8月）
・アセアン留学生モニターツアー（11月）
・ANAホームページでの鳥取紹介
・とっとり市との連携調査 ほか
【今後の課題・方向性】
鳥取空港の就航会社であるANAのシンクタンクであるANA総合研究所による3年間の本市での活動成果を活かし、本市の地域資源の活用や地元特産品の販路拡大を図っていく。

(参考)	
前年度決算額	6,300

評価結果	ANA総合研究所による3年間の活動は終了。今後は、この活動成果を、本市の地域資源の活用、地元特産品の販路拡大、関西・関東圏での本市のシティセールスのノウハウに活用していく。
------	--

経002	項目名	シルバー人材センター運営補助金
------	-----	-----------------

主要な施策	シルバー人材センター助成費等	ページ	29
-------	----------------	-----	----

所属名	経済観光部 経済・雇用戦略課
-----	-------------------

年度	H25
----	-----

事業の概要

会計名	
一般会計	
款	民生費
項	社会福祉費
目	老人福祉費

【問合せ先】雇用政策係 0857-20-3134

【9次総の施策体系】5104

【予算計上の経過】
予算事業別概要目次
当初予算・P110（経002）

【事業の概要】
高齢者の意向に応じた臨時的・短期的な就業機会の提供を行う（公社）鳥取市シルバー人材センターに対して運営等に要する経費を補助することにより、同センターの経営の安定を図り、就業による高齢者の積極的な社会参加を通じ、高齢者の生きがいづくりを創出するため、運営に要する経費についての補助を行う。

【事業の成果】
平成23年度 11,480千円（うち賛助会員会費：全国シバ -50千円、県シバ -30千円）
平成24年度 11,180千円（うち賛助会員会費：全国シバ -50千円、県シバ -30千円）
平成25年度 11,180千円（うち賛助会員会費：全国シバ -50千円、県シバ -30千円）

【今後の課題・方向性】
鳥取市シルバー人材センターの運営費の大半は、配分金に上乗せして発注者から支払われる事務費（10%）と国・鳥取市からの補助金で成り立っている。国の補助金が平成22年度から2年間にわたり縮減され、事務改善や経営努力を重ねても運営が厳しい状況である。引き続き現状通りの支援が必要である。

(単位:千円)

当初予算額	11,180
補正予算額	0
予算流・充用額	0

最終予算額	11,180
-------	--------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

本年度決算額	11,180
--------	--------

区分		決算額
財源内訳	国・県支出金	0
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	11,180
計		11,180

(参考)

前年度決算額	11,180
--------	--------

評価結果	高齢者の能力の積極的な活用や社会参加推進の中核的組織である鳥取市シルバー人材センターの運営について、引き続き支援を行っていく。
------	---

経003	項目名	食育アドバイザー派遣事業費
------	-----	---------------

主要な施策	地産地消推進事業費	ページ	36	所属名
-------	-----------	-----	----	-----

年度	H25
----	-----

会計名	
一般会計	
款	農林水産業費
項	農業費
目	農業振興費

(単位:千円)	
当初予算額	325

補正予算額	0
-------	---

予算流・充用額	5
---------	---

最終予算額	330
-------	-----

本年度決算額	328
--------	-----

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	104
地方債	0
その他	0
一般財源	224
計	328

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

事業の概要

【問合せ先】地域経済係 0857-20-3249

【9次総の施策体系】5101

【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 当初予算・P111 (経004)

【事業の概要】
 小・中学生、保育園児・保護者や市街地の消費者が、農林水産物や地域の食材を使った伝統料理に対する理解を深めることにより地産地消を推進する。

【事業の成果】
 優れた技術を持つ農林水産業者、農産物加工・地域の食材を使った料理の普及に取り組んでいる人たちを「食育アドバイザー」として選定し、小・中学校や地域の公民館が開催する料理教室など食育に関する研修会に講師として派遣し、食と農林水産業への理解を深めた。
 食育アドバイザー謝礼：派遣1回当たり 講演10千円/人、
 農林水産物加工・料理講習5千円/人

平成23年度 57回開催 参加者1,102名 325千円
 平成24年度 64回開催 参加者1,773名 350千円
 平成25年度 61回開催 参加者1,029名 325千円

【今後の課題・方向性】
 より多くの団体に制度を活用してもらえるよう、利用に際して受付内容の検討を行う。

(参考)	
前年度決算額	350

評価結果	より多くの団体が派遣制度を利用し、地元食材を使った伝統料理等に対する理解を深め、地産地消の促進を図る。
------	---

経済観光部
 経済・雇用戦略課

経004	項目名	地産地消推進の店認証事業費
------	-----	---------------

主要な施策	地産地消推進事業費	ページ	36
-------	-----------	-----	----

所属名	経済観光部 経済・雇用戦略課
-----	-------------------

年度	H25
----	-----

事業の概要

会計名	一般会計
款	農林水産業費
項	農業費
目	農業振興費

(単位:千円)	
当初予算額	80

補正予算額	0
-------	---

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	80
-------	----

本年度決算額	80
--------	----

区分	決算額	
財源内訳	国・県支出金	24
	地方債	0
	その他	4
	一般財源	52
計	80	

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	4
その他	0

【問合せ先】地域経済係 0857-20-3249

【9次総の施策体系】5101

【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 当初予算・P112 (経005)

【事業の概要】
 地元の農林水産物を市内の飲食店が積極的に活用することにより地産地消を市民にアピールするとともに生産と消費の拡大を図る。

【事業の成果】
 認定店に対する認定証の交付や看板の貸与、ホームページ等への掲載を行う。
 認定店の増加により、「地産地消の店」の看板を作成する。(H25作成)
 22年度認定店数 89店
 23年度認定店数 97店
 24年度認定店数 86店(認定期間H24~26)
 25年度認定店数 87店

【今後の課題・方向性】
 平成27~29年度の地産地消の店再認定に向けて、認定店舗数の増加を図る。

(参考)	前年度決算額	113
------	--------	-----

評価結果	「鳥取市地産地消の店」(平成27年度から平成29年度)の再認定に伴う協議・検討を行う。
------	---

経005	項目名	中小企業勤労者福祉サービスセンター運営補助金
------	-----	------------------------

主要な施策	中小企業勤労者福祉サービスセンター事業費	ページ	39
-------	----------------------	-----	----

所属名	経済観光部 経済・雇用戦略課
-----	-------------------

年度	H25
----	-----

事業の概要

会計名	一般会計
款	商工費
項	商工費
目	商工業振興費

【問合せ先】雇用政策係 0857-20-3134

【9次総の施策体系】5104

【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 当初予算・P112（経006）

【事業の概要】
 事業主・勤労者・行政が一体となって、相互扶助を基本理念に充実した福利厚生制度を確立し中小企業勤労者の福祉の向上を図るとともに、中小企業の振興及び地域社会の活性化に寄与するため、中小企業福祉事業費（管理運営費及び事業費）の補助を行う。

【事業の成果】
 平成22年度 21,400千円
 平成23年度 10,700千円 ※平成23年度より国庫補助金廃止
 平成24年度 10,700千円
 平成25年度 10,700千円

【今後の課題・方向性】
 中小企業の振興及び地域社会の活性化に寄与するため、引き続き中小企業福祉事業費（管理運営費及び事業費）に対する補助を行っていくとともに、運営改善・事業の効率化・自主財源確保について働きかけていく。

(単位:千円)

当初予算額	10,700
補正予算額	0

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	10,700
-------	--------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

本年度決算額	10,700
--------	--------

区分	決算額	
財源内訳	国・県支出金	0
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	10,700
	計	10,700

(参考)

前年度決算額	10,700
--------	--------

評価結果	中小企業における勤労者の福祉の増進を図るため、引き続きサービスセンター事業の運営に要する経費を補助していく。
------	--

経006	項目名	制度融資資金
------	-----	--------

主要な施策	中小企業金融対策費	ページ	39	所属名
-------	-----------	-----	----	-----

年度	H25
----	-----

会計名	
一般会計	
款	商工費
項	商工費
目	商工業振興費

(単位:千円)	
当初予算額	6,924,276

補正予算額	0
-------	---

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	6,924,276
-------	-----------

本年度決算額	6,521,138
--------	-----------

区分		決算額
財源内訳	国・県支出金	0
	地方債	0
	その他	6,521,138
	一般財源	0
計		6,521,138

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	6,521,138
その他	0

事業の概要

【問合せ先】商業振興係 0857-20-3222

【9次総の施策体系】5102

【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 当初予算・P107（経007）

【事業の概要】
 本市の中小企業者に対し、小口融資等の一般融資のほか借換えや新規事業等目的に合せた融資制度を設け、経営の安定を図る。
 貸付実行した金融機関に対し、協調割合に応じた市負担分を預託する。

【事業の成果】
 市内の中小企業者が経営基盤強化や経営の健全化に必要な資金を円滑に調達することができた。
 平成23年度 818件
 平成24年度 600件
 平成25年度 481件

【今後の課題・方向性】
 本市の中小企業者の経営基盤強化や経営の健全化を図るため、継続とする。

(参考)	
前年度決算額	6,592,678

評価結果	本市の中小企業者の経営基盤強化や経営の健全化を図るため、継続とする。
------	------------------------------------

経済観光部
 経済・雇用戦略課

経007	項目名	小規模事業者経営改善資金利子補助金
------	-----	-------------------

主要な施策	中小企業金融対策費	ページ	39
-------	-----------	-----	----

所属名	経済観光部 経済・雇用戦略課
-----	-------------------

年度	H25
----	-----

事業の概要

会計名	一般会計
款	商工費
項	商工費
目	商工業振興費

【問合せ先】商業振興係 0857-20-3222

【9次総の施策体系】5102

【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 当初予算・P108（経007）

【事業の概要】
 小規模事業者の財政負担の軽減を図るため、資金利用者に対する利子補給制度を平成25年度に制定。市内の小規模事業者への支援策として、商工会議所、商工会の経営指導のもと経営改善を図りながら資金注入を行うことにより、小規模事業者の経営の安定化に資する。

(1) 対象者 平成25年4月1日から平成27年3月31日までの間に小規模事業者経営改善資金を利用した市内の事業者

(2) 補助額 利子額の2分の1

(3) 補助期間 融資を受けた日から2年間

【事業の成果】
 小規模事業者の負担軽減を図り、経営の安定化に資することができた。
 平成25年度 46件

【今後の課題・方向性】
 引き続き平成26年度まで継続する。

(単位:千円)

当初予算額	2,240
補正予算額	△ 850
予算流・充用額	0

最終予算額	1,390
-------	-------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

本年度決算額	840
--------	-----

区分	決算額	
財源内訳	国・県支出金	0
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	840
計	840	

(参考)

前年度決算額	0
--------	---

評価結果	時限的な措置である。
------	------------

経008	項目名	商店街にぎわい形成促進事業費
------	-----	----------------

主要な施策	商店街にぎわい形成促進事業費	ページ	39	所属名
-------	----------------	-----	----	-----

年度	H25
----	-----

会計名	
一般会計	
款	商工費
項	商工費
目	商工業振興費

(単位:千円)	
当初予算額	7,000

補正予算額	0
-------	---

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	7,000
-------	-------

本年度決算額	4,820
--------	-------

区分		決算額
財源内訳	国・県支出金	0
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	4,820
計		4,820

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

事業の概要

【問合せ先】商業振興係 0857-20-3222

【9次総の施策体系】4203・5103

【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 当初予算・P237（経009）

【事業の概要】
 商店街の空き店舗対策や賑わいの創出、環境整備を図る活動を推進することにより、中心市街地の商業活性化を図る。
 (1) 空き店舗対策事業
 中心市街地内の空き店舗を商業、または非商業施設として活用する事業に要する経費の一部を補助する。
 (2) 活動支援事業
 地域の文化、人材、資源を活かした商店街づくり事業や、販売促進、調査、その他商業振興につながるソフト事業に要する経費の一部を補助する。
 (3) 環境整備事業
 商店街の良好な環境整備に要する経費の一部を補助する。
 (4) 空き店舗改修支援事業
 家主と商店街との連携による空き店舗へのテナント誘致活動や、店舗改修に要する経費の一部を補助する。

【事業の成果】
 ○H23年度：7件 ○H24年度：12件 ○H25年度：10件

【今後の課題・方向性】
 より事業効果を高めるため、必要に応じて制度の見直しを行っていく。

(参考)	
前年度決算額	9,927

評価結果	引き続き、意欲のある事業者等に対する支援を行っていくことにより、中心市街地の賑わい創出、商業振興を図る。
------	--

経済観光部
 経済・雇用戦略課

経009	項目名	チャレンジショップ運営費
------	-----	--------------

主要な施策	中心市街地活性化推進事業費	ページ	39
-------	---------------	-----	----

所属名	経済観光部 経済・雇用戦略課
-----	-------------------

年度	H25
----	-----

会計名	一般会計
款	商工費
項	商工費
目	商工業振興費

(単位:千円)	
当初予算額	3,078

補正予算額	0
-------	---

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	3,078
-------	-------

本年度決算額	3,031
--------	-------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	0
一般財源	3,031
計	3,031

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

<p>事業の概要</p> <p>【問合せ先】商業振興係 0857-20-3222 【9次総の施策体系】4203、5103、5104 【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P110（経011）</p> <p>【事業の概要】 中心市街地の空き店舗を整備した上で安価な家賃で貸し出し、開業の初期投資の軽減を図る。チャレンジショップに出店中は、経営指導など具体的な支援を行い、街なかへの独立開業を促す。</p> <p>①チャレンジショップ（瓦町507）は鳥取商工会議所に運営委託 ※入居者の自立を促すため、1/3程度の家賃を徴収する。</p> <p>②チャレンジショップ運営協議会事務委託 委託先：鳥取商工会議所 ・運営方針や出店者の決定 ・チャレンジショップの運営管理 ・出店者等に対する経営指導等</p> <p>【事業の成果】 中心市街地において新規の商業起業を促進させ、商店街が抱える店主の高齢化、後継者不足、若手起業家の育成等に寄与する支援策を講じ、商店街の活性化を図る意味で効果あった。平成12年の事業開始から約70名が卒業し約7割が開業、中心市街地の出店を促しており一定の成果が得られた。</p> <p>○H23（1～4号館）4名開業 ○H24（1号館）2名開業 ○H25（1号館）2名開業</p> <p>【今後の課題・方向性】 運営協議会の意見を踏まえ、事業内容を見直し効率化を図ることが必要。</p>
--

(参考)	
前年度決算額	2,780

評価結果	運営協議会の意見を踏まえ、事業内容を見直し効率化を図ることとする。
------	-----------------------------------

経010	項目名	中心市街地活性化推進事業補助金
------	-----	-----------------

主要な施策	中心市街地活性化推進事業費	ページ	39	所属名
-------	---------------	-----	----	-----

年度	H25
----	-----

会計名	
一般会計	
款	商工費
項	商工費
目	商工業振興費

(単位:千円)	
当初予算額	4,000

補正予算額	0
-------	---

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	4,000
-------	-------

本年度決算額	4,000
--------	-------

区分		決算額
財源内訳	国・県支出金	0
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	4,000
計		4,000

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

事業の概要

【問合せ先】商業振興係 0857-20-3222

【9次総の施策体系】4203・5103

【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 当初予算・P239（経013）、8月補正予算・P17（経001）、
 2月補正予算にて減額

【事業の概要】
 認定中心市街地活性化基本計画等に基づく事業に係る実施設計、および実施を支援することにより、中心市街地の賑わい創出、商業振興を図る。
 1. 中心市街地活性化推進事業
 事業実施のための調査、実施設計、事業計画策定等に要する経費の一部を補助する。
 2. 中心市街地商業活性化支援事業
 国等の補助金を活用することにより、認定中心市街地活性化基本計画等に基づく事業を実施する場合の経費の一部を補助する。

【事業の成果】
 H25年度は、鳥取本通商店街振興組合、ならびに若桜街道商店街振興組合による活性化事業計画の策定に対する支援を行った。
 ・H23年度：2件（実施設計：1件 事業実施：1件）
 ・H24年度：1件（実施設計：1件）
 ・H25年度：2件（実施設計：2件）

【今後の課題・方向性】
 より事業効果を高めるため、必要に応じて制度の見直しを行っていく。

(参考)

前年度決算額	2,000
--------	-------

評価結果	引き続き、意欲ある事業者等に対する支援を行っていくことにより、中心市街地での商業活性化事業の推進による賑わい創出、商業振興を図る。
------	---

経済観光部
 経済・雇用戦略課

経011	項目名	街中・子育てにぎわい創出事業費
------	-----	-----------------

主要な施策	中心市街地活性化推進事業費	ページ	39
-------	---------------	-----	----

所属名	経済観光部 経済・雇用戦略課
-----	-------------------

年度	H25
----	-----

会計名	一般会計
款	商工費
項	商工費
目	商工業振興費

(単位:千円)	
当初予算額	7,300

補正予算額	0
-------	---

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	7,300
-------	-------

本年度決算額	7,300
--------	-------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	0
一般財源	7,300
計	7,300

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

<p>事業の概要</p> <p>【問合せ先】商業振興係 0857-20-3222</p> <p>【9次総の施策体系】4203、5103、1101</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P111 (経013)</p> <p>【事業の概要】 中心市街地の空き店舗の新たな活用策として、商店街振興とニーズの高い子育て支援を柱とする事業を、本通商店街振興組合が主となり取り組むことにより、街中での子育てを応援するとともに、にぎわいを創設し中心市街地の活性化を図る。</p> <p>【事業の成果】 中心市街地の空き店舗の新たな活用策として、商店街振興とニーズの高い子育て支援を柱とする事業を、本通商店街振興組合が主となり取り組むことにより、街中での子育てを応援するとともに、にぎわいを創設し中心市街地の活性化を図ることができた。</p> <p>利用者実績 H23年度 30,510人 H24年度 34,691人 H25年度 35,372人</p> <p>【今後の課題・方向性】 当該施設を拠点に、商店街との連携により街全体の更なるにぎわい創出の仕組みづくりが必要となる。子育て支援の観点からは、福祉保健事業として実施するなど、支援のあり方について検討が必要。</p>
--

(参考)	
前年度決算額	7,300

評価結果	子育て機能は中心市街地の不足業種であり、子育て世代・若者を呼び込むための必要な支援策である。1日に100名弱の利用者がいるすぺーすコモドに対して、当面は支援が必要である。
------	---

経012	項目名	鳥取市スマート・グリッド・タウン実証事業
------	-----	----------------------

主要な施策	地域経済活性化促進事業費	ページ	39
-------	--------------	-----	----

所属名	経済観光部 経済・雇用戦略課
-----	-------------------

年度	H25
----	-----

会計名	一般会計
款	商工費
項	商工費
目	商工業振興費

(単位:千円)	
当初予算額	7,094

補正予算額	0
-------	---

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	7,094
-------	-------

本年度決算額	6,961
--------	-------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	3,480
地方債	0
その他	0
一般財源	3,481
計	6,961

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

事業の概要

【問合せ先】地域経済係 0857-20-3249

【9次総の施策体系】5102

【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 当初予算・P117（経015）

【事業の概要】
 「鳥取市スマート・グリッド・タウン推進協議会」を平成23年2月に設立し、同年5月に「鳥取市 スマート・グリッド・タウン構想」を策定した。この構想では、スマートグリッド先進モデルを通じた関連産業の育成、豊かな自然と共生できる住環境の構築の推進等スマートグリッドを活用した都市づくりを通じ、産業の振興、雇用の創造を図っていくこととしている。また、市内に4つのプロジェクトを計画しており、第一ステップとして「若葉台地区スマート・グリッド・タウン実証事業」を23年度採択された経済産業省補助金「次世代エネルギー技術実証事業補助金」を活用し、若葉台地区において、とっとり型植物工場と、鳥取型スマートハウス等を導入し、低炭素団地を実現するための実証を行う。

【事業の成果】
 若葉台地区スマート・グリッド・タウン実証事業で導入された機器の実証データ収集・分析を実施
 ○H23年度 システム設計 1,726千円
 ○H24年度 施設整備、機器導入、実証データ収集 179,532千円
 ○H25年度 機器導入（電力融通宅内供給システム、植物栽培装置）、実証データ収集、分析結果まとめ 6,961千円

【今後の課題・方向性】
 若葉台地区スマート・グリッド・タウン実証事業で導入された機器の実証データ収集・分析を実施し、新たな技術の開発、事業の展開につなげていく。

(参考)	
前年度決算額	179,532

評価結果	地域に新たな産業を振興し、雇用を創造していくため、成長が見込まれる産業を積極的に推進していく必要がある。
------	--

経013	項目名	鳥取市トライアル発注事業
------	-----	--------------

主要な施策	地域経済活性化促進事業費	ページ	39
-------	--------------	-----	----

所属名	経済観光部 経済・雇用戦略課
-----	-------------------

年度	H25
----	-----

事業の概要	
-------	--

会計名	一般会計
款	商工費
項	商工費
目	商工業振興費

【問合せ先】地域経済係 0857-20-3249

【9次総の施策体系】5102

【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 当初予算・P118（経018）

【事業の概要】
 中小企業や大学発ベンチャーによる新商品開発における販路開拓を支援し、新産業の育成を図るとともに、鳥取市における産業の活性化を図る。
 また本事業は「鳥取市雇用創造戦略方針」において、雇用創出のための重点事業としても位置づけている。
 ※鳥取市雇用創造戦略方針重点事業No.29

【事業の成果】
 対象者を市内の中小企業、協同組合、生産者団体などとし市内で製造される優れた新商品等について、鳥取市が積極的にPRを行い、必要に応じて優先的に購入する。
 平成23年度 6製品 1,927千円
 平成24年度 4製品 1,971千円
 平成25年度 3製品 1,500千円

【今後の課題・方向性】
 環境に配慮した製品など、優れた新商品を積極的に支援する。

(単位:千円)

当初予算額	1,500
補正予算額	0
予算流・充用額	0

最終予算額	1,500
本年度決算額	1,500

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

区分	決算額	
財源内訳	国・県支出金	0
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	1,500
計	1,500	

(参考)

前年度決算額	1,972
--------	-------

評価結果	申請事業者の製品説明を多くの庁内関係課に聞いてもらうなどPRの機会を増やす。
------	--

経014	項目名	食品加工産業育成事業
------	-----	------------

主要な施策	地域経済活性化促進事業費	ページ	39
-------	--------------	-----	----

所属名	経済観光部 経済・雇用戦略課
-----	-------------------

年度	H25
----	-----

事業の概要

会計名	一般会計
款	商工費
項	商工費
目	商工業振興費

(単位:千円)

当初予算額	6,400
補正予算額	0
予算流・充用額	0

最終予算額	6,400
本年度決算額	5,635

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

区分	決算額	
財源内訳	国・県支出金	0
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	5,635
計	5,635	

【問合せ先】地域経済係 0857-20-3249

【9次総の施策体系】5102

【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 当初予算・P119 (経019)

【事業の概要】
 市内食品加工産業における新商品開発等の取り組みを支援し、特産品のブランド化・高付加価値化を推進するとともに、新たな加工食品開発を促進することで、食品加工産業の育成を図る。
 ※鳥取市雇用創造戦略方針重点事業No.26

【事業の成果】
 ジオ商品の開発や消費者ニーズに対応した商品が多数開発されており、ブランド化を目指すなど鳥取ならではの加工品が完成している。
 平成23年度 7件
 平成24年度 11件
 平成25年度 8件 の商品開発を行った。

【今後の課題・方向性】
 県外への販路開拓や輸出促進に向けて、アドバイスが必要。

(参考)

前年度決算額	7,270
--------	-------

評価結果	引き続き事業を実施する必要がある。
------	-------------------

経015	項目名	環日本海経済交流推進事業費
------	-----	---------------

主要な施策	地域経済活性化促進事業費	ページ	39	所属名
-------	--------------	-----	----	-----

年度	H25
----	-----

会計名	
一般会計	
款	商工費
項	商工費
目	商工業振興費

(単位:千円)	
当初予算額	8,227

補正予算額	△ 140
-------	-------

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	8,087
-------	-------

本年度決算額	7,632
--------	-------

区分		決算額
財源内訳	国・県支出金	0
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	7,632
計		7,632

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

事業の概要

【問合せ先】地域経済係 0857-20-3249
【9次総の施策体系】5401
【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 当初予算・P120（経021）、12月補正予算・P25（経002）

【事業の概要】
 環日本海地域との交流において、平成22年8月にロシアウラジオストク市、平成24年9月に中国延辺朝鮮族自治州と経済交流を促進する覚書を締結。ロシアや中国、さらには、韓国などで開催される貿易フェアや商談会等への地元中小企業の出展を支援し、販路の拡大を促進するとともに、本市のPRを行い、観光客の誘客を図る。

【事業の成果】
 ○H23年度
 ・環日本海拠点都市会議、とっとり産業フェスティバルの開催
 ○H24年度
 ・中国延辺朝鮮族自治州との経済交流覚書締結、貿易フェアへの出展（4社）
 ・ロシアウラジオストク市チャーター便就航による市内企業との商談会（39名参加）
 ・第18回環日本海拠点会議に参加（韓国束草市）ほか
 ○H25年度
 ・「鳥取市国際交流発展協議会」を設立（H25.4/1）し、市内経済・観光関係者やJETRO等支援団体等とネットワークを形成し、海外へ打って出る施策を検討・研究
 ・「環日本海経済交流センター」の開設（H25.4/1）
 ・中国延辺朝鮮族自治州で開催される貿易フェアに市内企業5社が出展
 ・ロシアウラジオストク市チャーター便に併せ、鳥取市企業の商談会等を実施（25名参加）
 ・海外へのアンテナショップの設置・運営支援
 ・「アセアン経済・観光入門セミナー」の開催

【今後の課題・方向性】
 本市の経済発展を推進するため、引き続き関係各都市と緊密な連携を保ちつつ、「環日本海地域」を含めた海外での具体的な貿易振興・観光客誘致の施策を実施していく。

(参考)	
前年度決算額	4,190

評価結果	市内企業・事業者及び市内経済・観光団体、貿易関係機関、金融機関、県・市等との緊密な連携のもとに、環日本海地域ほか海外における具体的な貿易振興、観光客誘致の施策の検討・実施に取組み、経済・観光交流の一層の活発化を図ることにより、本市の経済発展を推進する。
------	--

経済観光部
 経済・雇用戦略課

経016	項目名	商店街LED照明導入促進事業費
------	-----	-----------------

主要な施策	地域経済活性化促進事業費	ページ	39
-------	--------------	-----	----

所属名	経済観光部 経済・雇用戦略課
-----	-------------------

年度	H25
----	-----

事業の概要

会計名	一般会計
款	商工費
項	商工費
目	商工業振興費

【問合せ先】商業振興係 0857-20-3222

【9次総の施策体系】5102, 3203

【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 当初予算・P239（経022）、12月補正予算・P26（経003）

【事業の概要】
 商店街アーケード照明のLED化を促進することにより、維持管理コストの低減や、通行上の安全性及び防犯性を高めるとともに、市内で開発、または製造されるLED照明機器の導入を促進することにより、市内のLED関連産業の活性化を図る。

【事業の成果】
 ・H24年度 1件（鳥取本通商店街振興組合）
 ・H25年度 2件（末広温泉町商店街振興組合・智頭街道商店街振興組合）

【今後の課題・方向性】
 より事業効果を高めるため、必要に応じて制度の見直しを行っていく。

(単位:千円)

当初予算額	4,409
補正予算額	4,409
予算流・充用額	0

最終予算額	8,818
本年度決算額	7,729

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	3,864
地方債	0
その他	0
一般財源	3,865
計	7,729

(参考)

前年度決算額	10,380
--------	--------

評価結果	引き続き、意欲のある商店街振興組合等に対する支援を行っていくことにより、中心市街地における安全・安心な歩行環境を提供する。
------	---

経017	項目名	食ブランド創出推進事業
------	-----	-------------

主要な施策	地域経済活性化促進事業費	ページ	39	所属名
-------	--------------	-----	----	-----

年度	H25
----	-----

会計名	
一般会計	
款	商工費
項	商工費
目	商工業振興費

(単位:千円)	
当初予算額	2,996

補正予算額	0
-------	---

予算流・充用額	△ 96
---------	------

最終予算額	2,900
-------	-------

本年度決算額	2,678
--------	-------

区分		決算額
財源内訳	国・県支出金	854
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	1,824
計		2,678

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

事業の概要

【問合せ先】地域経済係 0857-20-3249

【9次総の施策体系】5102

【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 当初予算・P121 (経023)

【事業の概要】
 鳥取市の「食」に焦点を当て、地元食材を活用したコンテストの開催、害獣といわれるジビエ肉を身近に感じてもらうための普及啓発・ジビエメニューの開発など戦略的に行う。また、新メニューとして開発された「塩鯖どんぶり」を鳥取のご当地メニューとして発信していくためのイベント開催やHPの開設などを行い、全国へその活動を発信することにより、鳥取市の食を核とする地域ブランドの強化・充実を図り、本市の地域経済活性化（観光産業の振興、物産振興、雇用創出）に繋げていく。

【事業の成果】
 ○平成23年度 料理講習会・・・3回、情報発信、「鳥取の家庭料理」本の発行
 ○平成24年度 料理講習会 3回、料理コンテスト、食の情報発信、「新・鳥取の家庭料理」本の発行
 ○平成25年度
 ・親子で料理コンテスト (H25.8.6)
 ・ジビエ肉の販売促進・情報発信、「森の贅沢 ジビエフェア」 (H25.9.4~H26.1.26)
 ・「塩サバ」料理コンテスト、因幡の塩鯖まつり (H25.9.23)

【今後の課題・方向性】
 イベント等を通して地元食材の食べ方、活用方法などをPRしていく必要がある。地元がもっと盛り上げる。

(参考)	
前年度決算額	4,365

評価結果	引き続き事業を継続する必要がある。
------	-------------------

経済観光部
 経済・雇用戦略課

経018	項目名	スマートグリッド推進事業
------	-----	--------------

主要な施策	地域経済活性化促進事業費	ページ	39	所属名
-------	--------------	-----	----	-----

年度	H25
----	-----

会計名	
一般会計	
款	商工費
項	商工費
目	商工業振興費

(単位:千円)	
当初予算額	15,257

補正予算額	4,301
-------	-------

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	19,558
-------	--------

本年度決算額	19,490
--------	--------

区分		決算額
財源内訳	国・県支出金	4,565
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	14,925
計		19,490

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

事業の概要

【問合せ先】地域経済係 0857-20-3249

【9次総の施策体系】5102

【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 当初予算・P121（経024）、12月補正・P59（経004）

【事業の概要】
 「鳥取市スマート・グリッド・タウン構想」を推進するため、分散型エネルギーインフラプロジェクト、スマートグリッド機器開発支援（スマートグリッド推進事業補助金）、EV普及事業（急速充電器保守）を実施する。

【事業の成果】
 ・H23年度：スマートグリッド推進事業補助金 2件（風力発電開発、高効率太陽光発電機器開発）
 ・H24年度：スマートグリッド推進事業補助金 1件（給水型水素燃料電池試作研究）、EV急速充電器保守（2箇所）
 ・H25年度：スマートグリッド推進事業補助金 2件（共同蓄電池宅内電力供給装置開発、家庭用エネルギー監視制御システム開発）、分散型エネルギーインフラ導入可能性調査事業実施（対象地域：中心市街地）、EV急速充電器保守（4箇所）

【今後の課題・方向性】
 スマートグリッド機器の開発に対する支援を行い、新産業の創出を図ることができた。今後は、エネルギー関連等新産業振興、地域内エネルギーを地域で消費し、経済循環する社会の実現を目指す。

(参考)

前年度決算額	6,224
--------	-------

評価結果	鳥取市スマート・グリッド・タウン構想を推進することによって、新たな産業・雇用創出と環境・未来都市鳥取を推進する。
------	--

経済観光部
 経済・雇用戦略課

経019	項目名	農商工連携マッチング事業
------	-----	--------------

主要な施策	地域経済活性化促進事業費	ページ	39
-------	--------------	-----	----

所属名	経済観光部 経済・雇用戦略課
-----	-------------------

年度	H25
----	-----

事業の概要

会計名	一般会計
款	商工費
項	商工費
目	商工業振興費

【問合せ先】地域経済係 0857-20-3249

【9次総の施策体系】5102

【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 当初予算・P122（経025）

【事業の概要】
 企業と農林水産業者等とのマッチングを行い、農商工連携、6次産業化を推進し、地域経済の活性化を図るため、鳥取商工会議所に委託。
 ・農商工連携に係る市内企業のニーズ、シーズの調査
 ・農商工異業種のマッチングによる新商品開発等の推進
 ・商品クリニックの開催（年2回）

【事業の成果】
 マッチングにより商品化を達成した企業数
 ・H24年度：12件
 ・H25年度：8件
 ※H21～H23はふるさと雇用（緊急雇用事業）により実施

【今後の課題・方向性】
 新たに開発された商品を販路開拓してための商品PRや、デザインの検討を行い、商品の魅力向上を図る必要があり、それらを「鳥取市のいいもん」として販売していくことが必要。

(単位:千円)

当初予算額	4,768
補正予算額	0
予算流・充用額	0

最終予算額	4,768
本年度決算額	4,767

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

区分	決算額	
財源内訳	国・県支出金	0
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	4,767
計	4,767	

(参考)

前年度決算額	4,767
--------	-------

評価結果	1歩先へステップアップ出来るように、改善の必要がある。
------	-----------------------------

経020	項目名	プレミアム付き商品券発行事業費
------	-----	-----------------

主要な施策	地域経済活性化促進事業費	ページ	39
-------	--------------	-----	----

所属名	経済観光部 経済・雇用戦略課
-----	-------------------

年度	H25
----	-----

会計名	一般会計
款	商工費
項	商工費
目	商工業振興費

(単位:千円)	
当初予算額	0

補正予算額	97,500
-------	--------

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	97,500
-------	--------

本年度決算額	97,369
--------	--------

区分	決算額	
財源内訳	国・県支出金	0
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	97,369
計	97,369	

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

<p>事業の概要</p> <p>【問合せ先】商業振興係 0857-20-3222</p> <p>【9次総の施策体系】4203, 5103</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 7月補正予算（7月29日提案分）・P11（経001）</p> <p>【事業の概要】 ①実施主体 鳥取市商店街振興組合連合会 ②販売額 11億5,000万円（うちプレミアム部分1億5,000万円） ③1冊あたりの販売額 10,000円（額面11,500円） ④販売数 100,000冊 ⑤補助内容 9,750万円（プレミアム部分の65%） ⑥取扱店舗 451店舗（中心市街地商店街・商工会・その他） ⑦利用期間 平成25年10月1日～平成26年2月28日</p> <p>【事業の成果】 地元商店街振興組合が実施するプレミアム付き商品券発行事業を支援することにより、地元中小小売商業者等の販売意欲ならびに消費者の購買意欲を高めることで、地域経済の活性化を図った。</p> <p>【今後の課題・方向性】 経済情勢や地元商店街からの要望等を踏まえたうえで、適切な時期に実施する。</p>
--

(参考)	
前年度決算額	0

評価結果	経済情勢や地元商店街からの要望等を踏まえたうえで、適切な時期に実施する。
------	--------------------------------------

経021	項目名	日置谷小学校廃校舎活用事業費
------	-----	----------------

主要な施策	地域経済活性化促進事業費	ページ	39
-------	--------------	-----	----

所属名	経済観光部 経済・雇用戦略課
-----	-------------------

年度	H25
----	-----

事業の概要

会計名	一般会計
款	商工費
項	商工費
目	商工業振興費

【問合せ先】雇用政策係 0857-20-3134

【9次総の施策体系】5102

【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 12月補正予算・P027（経005）

【事業の概要】
 日置谷小学校廃校舎を新産業に取り組む事業者の工場として利活用することで、企業誘致による地域経済の活性化及び雇用の創出を図る。
 老朽化した日置谷小学校廃校舎を貸付物件として活用する上で最低限必要なインフラ整備（水道施設復旧、火災報知設備復旧、非常灯設備設置、各種撤去等）を行う。

貸付の相手方：株式会社インフォメーション・ディベロップメント（本社：東京都）
 貸付の目的：市と連携した植物工場として活用させるため

【事業の成果】
 平成26年1月に操業を開始し、6名が新規雇用された。

【今後の課題・方向性】
 事業拡大に伴い、必要最小限のインフラ整備を行い、雇用者数の増を見込む。葉物野菜を安定的に生産、ブランド化など付加価値の向上及び販路の開拓が必要である。

(単位:千円)

当初予算額	0
補正予算額	1,808
予算流・充用額	0

最終予算額	1,808
-------	-------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

本年度決算額	1,705
--------	-------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	0
一般財源	1,705
計	1,705

(参考)

前年度決算額	0
--------	---

評価結果	平成26年度以降に2階、3階へ事業規模を拡大する予定があり、引き続き最低限必要なインフラ整備（水道施設復旧、火災報知設備復旧、非常灯設備設置、各種撤去等）を行う。
------	---

経022	項目名	職業紹介事業費
------	-----	---------

主要な施策	雇用対策事業費	ページ	39
-------	---------	-----	----

所属名	経済観光部 経済・雇用戦略課
-----	-------------------

年度	H25
----	-----

会計名	一般会計
款	商工費
項	商工費
目	商工業振興費

(単位:千円)

当初予算額	4,551
補正予算額	△ 64
予算流・充用額	0

最終予算額	4,487
本年度決算額	4,411

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	0
一般財源	4,411
計	4,411

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

<p>事業の概要</p> <p>【問合せ先】雇用政策係 0857-20-3134</p> <p>【9次総の施策体系】5104</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P122 (経026)</p> <p>【事業の概要】 企業の事業再編等に伴い離職された方や大学卒業予定の方、高等学校を卒業して未就職の方、一般の求職者に対して鳥取市無料職業紹介所に登録されている求人企業を紹介して就職支援を行う。 また、雇用に関する情報収集を行い、求職者に対して情報の提供をするとともに、企業訪問による新規求人開拓などを実施して、より一層のマッチングを図る。</p> <p>【事業の成果】</p> <table border="0"> <tr> <td>◆平成23年度</td> <td>求職登録者数・・・132人</td> <td>登録企業数・・・147社</td> </tr> <tr> <td></td> <td>就職者数・・・53人</td> <td>登録求人数・・・443人</td> </tr> <tr> <td>◆平成24年度</td> <td>求職登録者数・・・182人</td> <td>登録企業数・・・184社</td> </tr> <tr> <td></td> <td>就職者数・・・158人</td> <td>登録求人数・・・126人</td> </tr> <tr> <td>◆平成25年度</td> <td>求職登録者数・・・130人</td> <td>登録企業数・・・79社</td> </tr> <tr> <td></td> <td>就職者数・・・183人</td> <td>登録求人数・・・306人</td> </tr> </table> <p>【今後の課題・方向性】 50代から60代の求人数が少なく、この年齢層の求職者の就職が決まりにくい状況にあることから、企業訪問による新規求人開拓を根気強く行い、マッチングを図る。</p>	◆平成23年度	求職登録者数・・・132人	登録企業数・・・147社		就職者数・・・53人	登録求人数・・・443人	◆平成24年度	求職登録者数・・・182人	登録企業数・・・184社		就職者数・・・158人	登録求人数・・・126人	◆平成25年度	求職登録者数・・・130人	登録企業数・・・79社		就職者数・・・183人	登録求人数・・・306人
◆平成23年度	求職登録者数・・・132人	登録企業数・・・147社																
	就職者数・・・53人	登録求人数・・・443人																
◆平成24年度	求職登録者数・・・182人	登録企業数・・・184社																
	就職者数・・・158人	登録求人数・・・126人																
◆平成25年度	求職登録者数・・・130人	登録企業数・・・79社																
	就職者数・・・183人	登録求人数・・・306人																

(参考)

前年度決算額	4,523
--------	-------

評価結果	企業の事業再編等に伴う離職者が多く発生しており、地域産業の持続的発展のために引き続き実施する。
------	---

経023	項目名	雇用対策事務委託事業費
------	-----	-------------

主要な施策	雇用対策事業費	ページ	39	所属名
-------	---------	-----	----	-----

年度	H25
----	-----

会計名	
一般会計	
款	商工費
項	商工費
目	商工業振興費

(単位:千円)	
当初予算額	4,808

補正予算額	△ 31
-------	------

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	4,777
-------	-------

本年度決算額	4,739
--------	-------

区分		決算額
財源内訳	国・県支出金	0
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	4,739
計		4,739

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

事業の概要

【問合せ先】雇用政策係 0857-20-3134

【9次総の施策体系】5104

【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 当初予算・P123 (経027)

【事業の概要】
 市内の雇用支援機関の連携を図るために設置した鳥取市雇用促進協議会での事業実施を通じ、雇用の創出を図る。

【事業の成果】
 [平成23年度] 高校・大学生の企業見学会 (6校、209人参加、17社見学)、パソコン技能&コミュニケーション研修 (4回開催・95人参加)、障がい者パソコン研修 (1回・7人参加)、合同企業説明会 (1回・79人参加)
 [平成24年度] 高校・大学生の企業見学会 (7校、283人参加、15社見学)、パソコン技能&コミュニケーション研修 (4回開催・86人参加)、ひとり親家庭パソコン研修 (1回・11人参加)、合同企業説明会 (1回・110人参加)
 [平成25年度] 高校・大学生の企業見学会 (6校、221人参加、16社見学)、パソコン技能&コミュニケーション研修 (4回開催・72人参加)、障がい者雇用を進める事業主支援セミナー (44人参加・32事業所)、若者の職場定着促進事業 (2回・57人参加)

【今後の課題・方向性】
 好転してはいるものなお厳しい雇用情勢と高い若年層の離職率を改善するため、引き続き雇用促進協議会の事業を通して雇用の促進と人材を育成することにより、地域の雇用に結びつけて行く。
 平成26年度は、経済団体と連携した創業支援にも新規に取り組む。

(参考)

前年度決算額	4,800
--------	-------

評価結果	鳥取市の経済の発展及び雇用創出及び雇用促進のため、今後も関係機関と連携しながら事業を進めていく。
------	--

所属名	経済観光部 経済・雇用戦略課
-----	-------------------

経024	項目名	求職者教育訓練助成金
------	-----	------------

主要な施策	雇用対策事業費	ページ	39	所属名
-------	---------	-----	----	-----

年度	H25
----	-----

会計名	
一般会計	
款	商工費
項	商工費
目	商工業振興費

(単位:千円)	
当初予算額	1,060

補正予算額	0
-------	---

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	1,060
-------	-------

本年度決算額	316
--------	-----

区分	決算額	
財源内訳	国・県支出金	0
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	316
計	316	

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

事業の概要

【問合せ先】雇用政策係 0857-20-3134

【9次総の施策体系】5103

【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 当初予算・P123 (経028)

【事業の概要】
 65歳以下の求職者が、就職の促進を図るために必要な教育訓練を自己の負担で受けたとき、支給要件期間の制限で雇用保険からの給付対象とならないものに対し、教育訓練助成金を支給する。
 ・補助限度額 50千円 ・補助額 1/2
 (※H24年1月1日～12月31日までの間に交付決定を行うものについては、補助限度額8万円、補助率2/3)

【事業の成果】
 平成23年度 318千円 (6件)
 平成24年度 879千円 (15件)
 平成25年度 257千円 (10件) 10件中8件が就職。

【今後の課題・方向性】
 利用者には子育てを終えて復職する際に資格を活かした仕事に就くことを目指す女性や、継続して働くことのできる仕事を目指す就職経験が少ない若年者が多いことから、今後も引き続き支援を行い、雇用拡大につなげる。

(参考)

前年度決算額	902
--------	-----

評価結果	雇用保険法第60条の2に規定する教育訓練給付を受けることができない求職者のスキルアップやキャリアアップを支援する事業であり、国の施策を補完し更なる雇用促進を図るため、引き続き実施する。
------	--

経済観光部
 経済・雇用戦略課

経025	項目名	とっとり若者インターンシップ事業
------	-----	------------------

主要な施策	雇用対策事業費	ページ	39	所属名
-------	---------	-----	----	-----

年度	H25
----	-----

会計名	
一般会計	
款	商工費
項	商工費
目	商工業振興費

(単位:千円)	
当初予算額	59,583

補正予算額	△ 5,000
-------	---------

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	54,583
-------	--------

本年度決算額	51,593
--------	--------

区分		決算額
財源内訳	国・県支出金	0
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	51,593
計		51,593

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

事業の概要

【問合せ先】雇用政策係 0857-20-3134

【9次総の施策体系】5104

【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 当初予算・P124 (経029)

【事業の概要】
 鳥取市雇用創造戦略方針の産業人材育成・確保プロジェクトに位置付けた重点事業の一つである「とっとり若者インターンシップ事業」の実施により、採用意欲のある事業所において、若年求職者の職場体験の促進を図ることで、雇用のミスマッチの解消による雇用創出を図る。

(1) 対象者：満40歳未満の市内求職者
 (2) 受入事業所：採用意欲のある事業所（ものづくりや商店など幅広く対象）
 (3) 実習 ○期間：3ヶ月以上 最大6ヶ月 ○内容：実習プログラムに沿って実施
 (4) 奨励金等 ○実習生：日額5,000円を支給○受入企業：日額2,000円を支給
 (5) 雇用支援コーディネーターの設置
 実習の申し込みから実習終了後の就職に向けた指導まで、実習生、実習受入事業所間の調整を図る。

【事業の成果】
 平成23年度 登録企業91社、実習申込者101人、雇用達成率68%
 平成24年度 登録企業116社、実習申込者166人、雇用達成率78%
 平成25年度 登録企業139社、実習申込者239人、雇用達成率79%

【今後の課題・方向性】
 採用意欲のある企業と求職者のマッチングを更に推進していく。

(参考)	
前年度決算額	52,876

評価結果	景気回復の兆しとともに若年層の就職率は上昇したものの、職場定着率の低迷は深刻な状況が続いている。企業とともに人材を育成し若年求職者を安定的雇用へ導く先進的事業として、今後とも積極的に指導・助成を続けていく。
------	---

経済観光部
 経済・雇用戦略課

経026	項目名	雇用創造戦略方針推進費
------	-----	-------------

主要な施策	雇用対策事業費	ページ	39
-------	---------	-----	----

所属名	経済観光部 経済・雇用戦略課
-----	-------------------

年度	H25
----	-----

事業の概要

会計名	一般会計
款	商工費
項	商工費
目	商工業振興費

【問合せ先】雇用政策係 0857-20-3134

【9次総の施策体系】5104

【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 当初予算・P124（経030）

【事業の概要】
 平成22～25年度の4年間で5,000人以上の雇用を確保するため、35の重点事業を推進し雇用創造・創出を図る。

【事業の成果】
 ・平成22年度・・・1,496人
 ・平成23年度・・・1,489人
 ・平成24年度・・・1,568人
 ・平成25年度・・・1,769人
 ◆ 合計 6,322人（目標としていた5千人を達成）

【今後の課題・方向性】
 新たに策定した、「第3次鳥取市経済再生・雇用戦略に基づいて、平成26年度から平成29年度の4年間で、5,000人の雇用創造目標数を設定して取り組む。

(単位:千円)

当初予算額	2,112
補正予算額	0

予算流・充用額	△ 38
---------	------

最終予算額	2,074
-------	-------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

本年度決算額	1,616
--------	-------

区分	決算額	
財源内訳	国・県支出金	0
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	1,616
計	1,616	

(参考)

前年度決算額	2,237
--------	-------

評価結果	第3次鳥取市経済再生・雇用創造戦略に基づいて、平成26年度から平成29年度の4年間で、5,000以上の雇用創造目標数を設定して取り組む。
------	--

経027	項目名	地元就職支援・人材確保支援事業
------	-----	-----------------

主要な施策	雇用対策事業費	ページ	39
-------	---------	-----	----

所属名	経済観光部 経済・雇用戦略課
-----	-------------------

年度	H25
----	-----

事業の概要

会計名	一般会計
款	商工費
項	商工費
目	商工業振興費

【問合せ先】雇用政策係 0857-20-3134

【9次総の施策体系】5104

【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 当初予算・P125（経032）

【事業の概要】
 市内企業の事業再編などの影響による離職者（データベース登録者）を、正規雇用した市内企業（データベース登録企業）に対して雇用奨励金を交付する。

【事業の成果】
 雇用開始から6か月経過後に正規雇用者一人につき20万円を交付。
 平成24年度：23社へ28名分交付
 平成25年度：20社へ24名分交付

【今後の課題・方向性】
 平成23年12月から平成25年11月までの間に13社の事業再編があり、多くの離職者が発生している。
 今後の状況を注視しながら、離職者の再就職支援事業の一環として実施する。

(単位:千円)

当初予算額	10,000
-------	--------

補正予算額	△ 4,800
-------	---------

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	5,200
-------	-------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

本年度決算額	4,800
--------	-------

区分	決算額	
財源内訳	国・県支出金	0
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	4,800
計	4,800	

(参考)

前年度決算額	5,600
--------	-------

評価結果	平成23年12月から平成25年11月にかけて企業の事業再編等に伴う離職者が相次いで発生している。今後の市内企業の業況等を注視しながら事業の継続を検討する。
------	---

経028	項目名	「快適・環境都市 鳥取」雇用創造プラン人材育成研修受講奨励金
------	-----	--------------------------------

主要な施策	雇用対策事業費	ページ	39	所属名
-------	---------	-----	----	-----

年度	H25
----	-----

会計名	
一般会計	
款	商工費
項	商工費
目	商工業振興費

(単位:千円)	
当初予算額	23,140

補正予算額	△ 3,000
-------	---------

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	20,140
-------	--------

本年度決算額	17,334
--------	--------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	11,500
一般財源	5,834
計	17,334

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	11,500
その他	0

事業の概要

【問合せ先】雇用政策係 0857-20-3134

【9次総の施策体系】5104

【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 当初予算・P126 (経034)

【事業の概要】
 鳥取市雇用創造協議会(会長:鳥取市長)が国から採択を受け、平成24年12月から平成27年3月末までの間で実施する「実践型地域雇用創造事業」の事業メニューとして、地域の求職者の就職のためのスキルアップを図ることを目的とした「人材育成メニュー」を実施するにあたり、受講奨励金の交付によって受講者(求職者)の生活安定を図り、メニューの受講に専念できる環境を整えることで、効果的なスキルの習得と受講終了後のスムーズな就職に繋げる。
 鳥取市雇用創造協議会が「快適・環境都市 鳥取」雇用創造プラン人材育成研修受講奨励金の支給対象として認定した人材育成メニューの受講者に対して、奨励金(最高3,530円(日額))を交付する。

【事業の成果】
 雇用保険の支給を受けていない受講生に対して交付。
 ○H24年度 18人
 ○H25年度 90人

【今後の課題・方向性】
 人材育成研修受講後に希望する企業からの求人が少なく、就職が決まりにくい。

(参考)	
前年度決算額	0

評価結果	平成27年3月まで実施する。
------	----------------

所属名	経済観光部 経済・雇用戦略課
-----	-------------------

経029	項目名	ふるさと産業規模拡大事業
------	-----	--------------

主要な施策	伝統産業等支援事業費	ページ	39
-------	------------	-----	----

所属名	経済観光部 経済・雇用戦略課
-----	-------------------

年度	H25
----	-----

事業の概要

会計名	
一般会計	
款	商工費
項	商工費
目	商工業振興費

(単位:千円)	
当初予算額	2,500

補正予算額	2,100
-------	-------

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	4,600
-------	-------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

本年度決算額	4,600
--------	-------

区分		決算額
財源内訳	国・県支出金	1,467
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	3,133
計		4,600

【問合せ先】地域経済係 0857-20-3249

【9次総の施策体系】5102

【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 当初予算・P127(経035)

【事業の概要】
 ふるさと産業を行う事業者が、生産ライン又は販売所の拡充又は整備等の既存事業拡大のための設備導入を行う事業に対し支援する。

【事業の成果】
 和紙製造に必要な不可欠な裁断機を導入したことで、苦情となっていたミリ単位の裁断誤差を解消することができ、またデジタル化による仕事の効率もよくなった。
 平成24年度 1件(陶磁器)
 平成25年度 2件(和紙)

【今後の課題・方向性】
 機械漉きの事業者は、機械導入に必要な経費が高額であり、伝統産業の継続維持が困難となる可能性大である。よって後継者不足が懸念される。

(参考)	
前年度決算額	2,500

評価結果	現状維持で事業実施
------	-----------

経030	項目名	伝統工芸等後継者育成支援事業費
------	-----	-----------------

主要な施策	伝統産業等支援事業費	ページ	39
-------	------------	-----	----

所属名	経済観光部 経済・雇用戦略課
-----	-------------------

年度	H25
----	-----

事業の概要

会計名	一般会計
款	商工費
項	商工費
目	商工業振興費

【問合せ先】地域経済係 0857-20-3249

【9次総の施策体系】5102

【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 当初予算・P127（経036）

【事業の概要】
 伝統工芸等の技術を伝承するため、後継者の受け入れを行う事業者と研修従事者に対し助成を行う。

【事業の成果】
 伝統工芸等産業技術が伝承でき、「伝統産業」を継続して維持することができた。
 平成23年度 1名(陶磁器)
 平成24年度 1名(陶磁器)
 平成25年度 2名(陶磁器、和紙)

【今後の課題・方向性】
 最小限の研修期間となっており、後継者として一人立ちできるほどの研修期間が持てるよう検討していく。

(単位:千円)

当初予算額	4,080
-------	-------

補正予算額	0
-------	---

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	4,080
-------	-------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

本年度決算額	3,240
--------	-------

区分	決算額	
財源内訳	国・県支出金	1,620
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	1,620
計	3,240	

(参考)

前年度決算額	2,040
--------	-------

評価結果	研修期間の延長を行い、後継者として即戦力となりうる程度の研修を受ける必要がある。
------	--

経031	項目名	因州和紙振興補助金
------	-----	-----------

主要な施策	伝統産業等支援事業費	ページ	39
-------	------------	-----	----

所属名	経済観光部 経済・雇用戦略課
-----	-------------------

年度	H25
----	-----

事業の概要

会計名	一般会計
款	商工費
項	商工費
目	商工業振興費

【問合せ先】地域経済係 0857-20-3249

【9次総の施策体系】5102

【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 当初予算・P128（経037）

【事業の概要】
 因州和紙を伝承していくため各種事業に取り組んでいる団体に助成し、和紙文化の伝承と和紙産業の安定と発展を図る。

【事業の成果】
 和紙後継者への助成により、青年後継者の意欲が向上している。また、和紙PRイベントに対して活用しているものであり、広く市民にも周知されている。
 平成23年度 841千円
 平成24年度 841千円
 平成25年度 841千円

【今後の課題・方向性】
 県外などへのPRをもっと積極的に行う必要がある。

（単位：千円）	
当初予算額	841

補正予算額	0
-------	---

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	841
-------	-----

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

本年度決算額	841
--------	-----

区分	決算額	
財源内訳	国・県支出金	0
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	841
計	841	

(参考)	
前年度決算額	841

評価結果	現状のまま事業実施
------	-----------

経032	項目名	新技術研究開発事業
------	-----	-----------

主要な施策	産学官連携推進事業費	ページ	39
-------	------------	-----	----

所属名	経済観光部 経済・雇用戦略課
-----	-------------------

年度	H25
----	-----

事業の概要

会計名	一般会計
款	商工費
項	商工費
目	商工業振興費

【問合せ先】地域経済係 0857-20-3249

【9次総の施策体系】5102

【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 当初予算・P239（経038）

【事業の概要】
 本市には、鳥取大学、鳥取環境大学の知の財産や産業振興機構、産業技術センター等の産業支援機関が立地しているとともに、中小企業においては、産学官連携による新技術の開発、新製品の開発、高付加価値化等が求められている。
 産学官連携や農商工等異業種交流による新たな製品開発や新技術の実用化等を支援することにより地場産業の活性化を推進するとともに、産学官連携による起業化の取組みを支援し、起業化や新たな事業設立を促進する。
 [補助内容]○新技術研究開発事業○農商工連携推進補助金○産学官連携起業化推進支援事業

【事業の成果】
 H23年度 3件 2,152千円《新技術3件》
 H24年度 0件 0千円
 H25年度 2件 1,280千円《新技術1件1,000千円、農商工連携1件280千円》

【今後の課題・方向性】
 産学官の共同研究進めることで地場産業の活性化に繋がるが、取組を行う事業者が少ないため、今後は制度周知を進めていきたい。

(単位:千円)

当初予算額	2,000
補正予算額	0
予算流・充用額	0

最終予算額	2,000
-------	-------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

本年度決算額	1,280
--------	-------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	0
一般財源	1,280
計	1,280

(参考)

前年度決算額	0
--------	---

評価結果	産学連携によって新技術開発を推進することが、新産業創出につながるため継続した取組が必要。
------	--

経033	項目名	新規創業・開業支援事業費
------	-----	--------------

主要な施策	新規創業支援事業費	ページ	39
-------	-----------	-----	----

所属名	経済観光部 経済・雇用戦略課
-----	-------------------

年度	H25
----	-----

会計名	一般会計
款	商工費
項	商工費
目	商工業振興費

(単位:千円)	
当初予算額	3,000

補正予算額	△ 1,000
-------	---------

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	2,000
-------	-------

本年度決算額	1,000
--------	-------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	0
一般財源	1,000
計	1,000

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

事業の概要

【問合せ先】商業振興係 0857-20-3222
 【9次総の施策体系】5103
 【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 当初予算・P239 (経039)

- 【事業の概要】
- 創業事業
 - (1) 対象者 市内において起業後1年未満の者
 - (2) 対象事業 小売業、卸売業、サービス業
 - (3) 対象経費 人件費、広告宣伝費、賃借料、委託費
 - (4) 補助額 正規雇用者1人につき500千円(上限1000千円)
 - ソーシャル・コミュニティビジネス事業
 - (1) 対象者 市内に居住している個人又は市内に事務所がある企業、団体
 - (2) 対象事業 地域の自立的持続的な発展に寄与する起業
 - (3) 対象経費 事務所開設費、備品購入費、調査研究費、広告宣伝費、謝金
 - (4) 補助率 3分の2(上限1000千円)

【事業の成果】
 新たな事業者を掘り起こし、新規創業・開業を行う者を支援することにより、地域経済の活性化と雇用の創出を図った。
 H23年度 3件(ソーシャル3件) 5,200千円
 H24年度 2件(ソーシャル2件) 2,000千円
 H25年度 1件(創業事業0件、ソーシャル1件) 1,000千円
 *H25年度からの新規事業であるが、ソーシャル・コミュニティビジネス事業を統合したもの。

【今後の課題・方向性】
 国においても創業に対する支援を重視しており、今後とも継続して実施していく。

(参考)

前年度決算額	0
--------	---

評価結果	国においても創業に対する支援を重視しており、今後とも継続して実施していく。
------	---------------------------------------

経034	項目名	花と木のまつり開催補助金
------	-----	--------------

主要な施策	中小企業・商業活性化対策事業費	ページ	39	所属名
-------	-----------------	-----	----	-----

年度	H25
----	-----

会計名	
一般会計	
款	商工費
項	商工費
目	商工業振興費

(単位:千円)	
当初予算額	1,513

補正予算額	0
-------	---

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	1,513
-------	-------

本年度決算額	1,496
--------	-------

区分		決算額
財源内訳	国・県支出金	0
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	1,496
計		1,496

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

事業の概要

【問合せ先】商業振興係 0857-20-3222

【9次総の施策体系】5102

【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 当初予算・P123 (経037)

【事業の概要】
 花と緑のある豊かな街づくりをめざし、市民のふれあいと賑わいを創出するため歩行者広場を開設し、花と木のまつりを実施する。鳥取市花と木のまつり実行委員会に対して補助金を交付することにより、運営を補助するもの。

【事業の成果】
 花や木にちなんだ催しや各種体験コーナーなど開設し、多くの来場者があり、市民のふれあいと賑わいの創出に繋げることができた。
 H23年度 73,000人
 H24年度 68,000人
 H25年度 50,000人

【今後の課題・方向性】
 一過性のイベントに終わるのではなく、中心市街地のにぎわい創出につなげる取組が必要。

(参考)	
前年度決算額	1,478

評価結果	花と木のまつりあわせ、商店街が独自にイベント等開催するなど、商店街のにぎわいの創出につながる取組が必要。
------	--

経済観光部
 経済・雇用戦略課

経035	項目名	商工会補助金
------	-----	--------

主要な施策	中小企業・商業活性化対策事業費	ページ	39
-------	-----------------	-----	----

所属名	経済観光部 経済・雇用戦略課
-----	-------------------

年度	H25
----	-----

事業の概要

会計名	
一般会計	
款	商工費
項	商工費
目	商工業振興費

【問合せ先】地域経済係 0857-20-3249

【9次総の施策体系】5103

【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 当初予算・P130（経041）

【事業の概要】
 平成19年4月1日に商工会が合併し、鳥取市東商工会（国府町、福部町商工会）、鳥取市南商工会（河原町、用瀬町、佐治町商工会）、鳥取市西商工会（気高町、鹿野町、青谷町商工会）の3商工会となった。それらの商工会に対し事業費の一部を補助する。

【事業の成果】
 三商工会の経営改善普及事業費、地域総合振興事業費に対して助成し、新市域中小企業者の経営改善や地域イベントの実施等地域資源を生かした地域振興を行い、新市域の商工業の振興を図った。
 ○平成23年度 26,235千円
 ○平成24年度 25,805千円
 ○平成25年度 25,550千円

【今後の課題・方向性】
 各商工会の会員数が減少していく中、引き続き、地域の商工業の核となる商工会を支援し、地域商工業の振興を図る必要がある。

(単位:千円)

当初予算額	25,805
補正予算額	0

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	25,805
-------	--------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

本年度決算額	25,550
--------	--------

区分	決算額	
財源内訳	国・県支出金	0
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	25,550
計	25,550	

(参考)

前年度決算額	25,805
--------	--------

評価結果	小規模事業者の経営支援等を図り、地域経済の活性化を図るため継続して取組む。
------	---------------------------------------

経036	項目名	中小企業等支援事業費
------	-----	------------

主要な施策	中小企業・商業活性化対策事業費	ページ	39
-------	-----------------	-----	----

所属名	経済観光部 経済・雇用戦略課
-----	-------------------

年度	H25
----	-----

会計名	一般会計
款	商工費
項	商工費
目	商工業振興費

(単位:千円)	
当初予算額	800

補正予算額	0
-------	---

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	800
-------	-----

本年度決算額	800
--------	-----

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	0
一般財源	800
計	800

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

<p>事業の概要</p> <p>【問合せ先】商業振興係 0857-20-3222</p> <p>【9次総の施策体系】5102, 5103</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P239 (経042)</p> <p>【事業の概要】 中小企業を対象とした各種研修会の開催、経営指導並びに専門家派遣によるフォローアップ事業を行うため、鳥取県中小企業団体中央会に事業委託する。</p> <p>(1) 研修会 ①中小企業等経営革新研修会 ②創業支援研修会 ③コミュニティービジネス研修会 ④連携組織後継者育成研修会 ⑤中小企業レディース研修会</p> <p>(2) 支援事業 (フォローアップ) ①連携組織マーケティング支援 ②中小企業事業連携活動支援 ③コミュニティービジネス創出支援 ④創業・経営革新支援 ⑤業種業態転換支援</p> <p>【事業の成果】 ・H23年度 セミナー開催4回、活動支援2団体、組合活性化診断事業1団体 ・H24年度 セミナー開催5回、活動支援3団体、組合活性化診断事業3団体 ・H25年度 セミナー開催5回、活動支援2団体、組合活性化診断事業4団体</p> <p>【今後の課題・方向性】 めまぐるしく変化する経済情勢に対応するため、地域の活力となる中小企業に対して継続的な支援を行っていく。</p>
--

(参考)	
前年度決算額	800

評価結果	めまぐるしく変化する経済情勢に対応するため、地域の活力となる中小企業に対して継続的な支援を行っていく。
------	---

経037	項目名	物産振興事業費
------	-----	---------

主要な施策	物産振興事業費	ページ	39	所属名
-------	---------	-----	----	-----

年度	H25
----	-----

会計名	
一般会計	
款	商工費
項	商工費
目	商工業振興費

(単位:千円)	
当初予算額	1,526

補正予算額	0
-------	---

予算流・充用額	5
---------	---

最終予算額	1,531
-------	-------

本年度決算額	1,379
--------	-------

区分	決算額	
財源内訳	国・県支出金	0
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	1,379
計	1,379	

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

事業の概要

【問合せ先】地域経済係 0857-20-3249

【9次総の施策体系】5102

【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 当初予算・P131 (経043)

【事業の概要】
 本市の経済活性化を図るため、県外における物産の振興に取り組む。

【事業の成果】
 各物産展において、鳥取市の観光PRと特産品等の販売を行い、毎年の出展を楽しみにして来られる方が増加しつつある。定着してきたと思われる。
 (1) 全国菓子大博覧会出展 (広島市) (H25.4/9~5/12)
 (2) 尼崎競艇PR事業 (H25.4/27~29)
 (3) よこすかカレーフェスティバル出展事業 (H25.5/11・12)
 (4) 釧路大漁どんぱく出展事業 (H25.9/6~8)
 (5) 阪神競馬場PR事業 (H25.9/7・8)
 (6) HOT連携 (姫路市、岡山市) 交流事業 (H25.10/12~14)
 (7) 郡山市交流事業 (H25.10/18~20)
 (8) ひがしなり街道玉手箱2013 (大阪東成区) (H25.11/3・4)

【今後の課題・方向性】
 出展団体をもっと幅広く募り、多くの団体に販路拡大を図ってもらう必要がある。

(参考)	
前年度決算額	1,700

評価結果	引き続き観光・物産をPRする必要がある。
------	----------------------

経済観光部
 経済・雇用戦略課

経038	項目名	物産振興体制強化事業
------	-----	------------

主要な施策	物産振興事業費	ページ	39	所属名
-------	---------	-----	----	-----

年度	H25
----	-----

会計名	
一般会計	
款	商工費
項	商工費
目	商工業振興費

(単位:千円)	
当初予算額	47,167

補正予算額	9,207
-------	-------

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	56,374
-------	--------

本年度決算額	56,374
--------	--------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	0
一般財源	56,374
計	56,374

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

事業の概要

【問合せ先】地域経済係 0857-20-3249

【9次総の施策体系】5102

【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 当初予算・P131（経044）、12月補正予算・P27（経006）

【事業の概要】
 （鳥取市観光コンベンション協会補助金）
 ○鳥取市観光コンベンション協会に物産機能を持たせ、物産振興の充実を図るため鳥取砂丘情報館サンドパルとっとり、わったいな、まちパル鳥取で物産会員の特産品等を販売。
 ○民芸や加工品を展示・販売する物産店を開設し、販路拡大を促進する。
 補助金：鳥取市ふるさと物産館等運営に対しての補助金

【事業の成果】
 平成23年度 4,553千円
 平成24年度 4,553千円
 平成25年度 56,374千円
 鳥取市観光コンベンション協会事務所を日交本通りビルに移転し、施設の整備工事を行ったことにより、販売収益の増加と人が集う街中「まちパル鳥取」へと変わった。観光・物産・広報などさまざまなPRができる場所となり、成果が得られた。
 事務所移転に伴う施設改修費・・・53,874千円
 施設管理費、物産販売等旅費など・・・2,500千円

【今後の課題・方向性】
 物産協会会員数を増やし、県外客が気軽に立ち寄るショップとして中心市街地の賑わい創出・活性化を図る。

(参考)	
前年度決算額	5,673

評価結果	引き続き、鳥取市観光コンベンション協会へ観光・物産などの拠点施設として中心市街地活性化を図ってもらう必要がある。
------	--

経済観光部
 経済・雇用戦略課

経039	項目名	インターネットショップ事業費
------	-----	----------------

主要な施策	物産振興事業費	ページ	39
-------	---------	-----	----

所属名	経済観光部 経済・雇用戦略課
-----	-------------------

年度	H25
----	-----

事業の概要

会計名	一般会計
款	商工費
項	商工費
目	商工業振興費

【問合せ先】商業振興係 0857-20-3222

【9次総の施策体系】5102

【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 当初予算・P132（経045）

【事業の概要】

- ・鳥取市及び鳥取市の物産のイメージアップやブランド化を図る。
- ・インターネットによる販路拡大・開拓の促進により、物産振興・産業振興を進める。
- ・生産者、事業者及び行政のネットワークの構築や新たなマッチングの充実を図る。

※H23.4月開設

【事業の成果】
 多くの関係者と鋭意取り組んだことにより、新たな販路機会の拡大や商品のブランド化、人材育成など、本市の物産振興に寄与することができた。

売上実績

H23年度	556件	3,088千円
H24年度	1,955件	9,682千円
H25年度	2,810件	14,623千円

【今後の課題・方向性】
 店舗加入促進と売上増加に向け、より魅力のある商品構成やページの作り込みなどを行う必要がある。

(単位:千円)

当初予算額	19,305
補正予算額	0
予算流・充用額	0

最終予算額	19,305
-------	--------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	2,216
その他	0

本年度決算額	16,230
--------	--------

区分	決算額	
財源内訳	国・県支出金	0
	地方債	0
	その他	2,216
	一般財源	14,014
計	16,230	

(参考)

前年度決算額	14,711
--------	--------

評価結果	巨大な市場である関東圏の顧客獲得に向け、コンテンツの認知を重点とした新たな広報戦略が必要。
------	---

経040	項目名	清州国際工芸ビエンナーレ出展事業費
------	-----	-------------------

主要な施策	物産振興事業費	ページ	39
-------	---------	-----	----

所属名	経済観光部 経済・雇用戦略課
-----	-------------------

年度	H25
----	-----

会計名	一般会計
款	商工費
項	商工費
目	商工業振興費

(単位:千円)

当初予算額	2,906
補正予算額	△ 214
予算流・充用額	0

最終予算額	2,692
本年度決算額	2,690

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	0
一般財源	2,690
計	2,690

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

事業の概要

【問合せ先】地域経済係 0857-20-3249

【9次総の施策体系】5103

【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 当初予算・P132 (経046)

【事業の概要】
 韓国・清州市と鳥取市は、平成2年8月30日に姉妹都市提携を行った。
 清州市で1年おきに開催される国際工芸展「清州国際工芸ビエンナーレ」について、平成13年から出展の要請があり、鳥取市の工芸品等を出展しPRを行っている。
 世界の工芸品が集まるこの会場において本市の工芸品を出展し、鳥取市の物産と観光を広くPRする。

【事業の成果】
 ○テーマ：「古いものと新しいもの」(Something Old Something New)
 ○期間：2013年9月11日(水)～10月20日(日)40日間
 ○場所：旧清州たばこ製造工場及び清州市一帯
 ○砂像、中井窯、牛の戸焼、麒麟獅子、和紙、しゃんしゃん傘等の鳥取市工芸品と鳥取市PRパネル、パンフレットを配置
 ○試食・販売を通じて「らっきょう」「鳥取カレー」「生姜せんべい」などの商品を紹介
 ○H23年度
 ・H23.9/21～10/30(40日間)本市工芸品を展示

【今後の課題・方向性】
 1年おきの開催であるが、引き続き姉妹都市韓国・清州市とのつながりを深めるとともに、本市工芸品等の国際的なPRを行うため、「清州国際工芸ビエンナーレ」に出展していく。

(参考)

前年度決算額	0
--------	---

評価結果	次回は再来年の実施となるが、引き続き、姉妹都市韓国・清州市とのつながりを深めるとともに、本市工芸品等の国際的なPRを行うため、出展していく。
------	--

経041	項目名	企業誘致推進費
------	-----	---------

主要な施策	企業誘致促進事業費	ページ	39	所属名
-------	-----------	-----	----	-----

年度	H25
----	-----

会計名	
一般会計	
款	商工費
項	商工費
目	商工業振興費

(単位:千円)	
当初予算額	4,018

補正予算額	477
-------	-----

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	4,495
-------	-------

本年度決算額	4,171
--------	-------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	0
一般財源	4,171
計	4,171

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

事業の概要

【問合せ先】誘致・支援係 0857-20-3223
 【9次総の施策体系】5102

【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 当初予算・P133（経047）、12月補正予算・P28（経007）

【事業の概要】
 本市産業の発展と雇用確保のため、本市への企業立地を促進し、産業構造の高度化及び雇用機会の拡大を図り、鳥取市経済活性化戦略にある雇用の拡大や地元企業の発展につながる新たな企業誘致の実現に向けて取り組む。

【事業の成果】
 企業誘致及び設備投資を推進するため、鳥取県等関係機関と協調して、首都圏・中京圏・関西圏の企業訪問等の活動を積極的に展開し、本市への企業進出を働きかけた。

《事業の実績》

◇誘致企業件数	平成23年度	10社
	平成24年度	7社
	平成25年度	8社
◇企業訪問件数	平成23年度	548件
	平成24年度	255件
	平成25年度	553件

【今後の課題・方向性】
 大手企業の事業再編や縮小により、鳥取県東部の平成26年3月末現在の有効求人倍率は0.92倍と全国（1.07倍）や鳥取県西部（1.11倍）に比べ低くなっている。アベノミクス効果により景気は持ち直す傾向にあるが、本市の経済・雇用情勢は依然厳しい状況にある。今後も引き続き誘致活動に力を入れて、雇用の場の創出に取り組んでいく。

(参考)

前年度決算額	4,157
--------	-------

評価結果
 東日本大震災以降のリスク分散やアベノミクス効果による設備投資の動きが出ており、これらの動きをとらえるべく、企業誘致推進事業を本市の重要な事業と位置付け、鳥取自動車道の全線開通や航空5便化をはじめ、現在造成中の河原インター山手工業団地や充実した支援内容等、企業に対して情報発信をするとともに、市関西事務所や県と連携を図り、効果的な誘致活動を展開する。

経済観光部
 企業立地・支援課

経042	項目名	工業団地分譲推進事業費
------	-----	-------------

主要な施策	企業誘致促進事業費	ページ	39	所属名
-------	-----------	-----	----	-----

年度	H25
----	-----

会計名	
一般会計	
款	商工費
項	商工費
目	商工業振興費

(単位:千円)	
当初予算額	529,891

補正予算額	△ 128,606
-------	-----------

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	401,285
-------	---------

本年度決算額	308,329
--------	---------

区分		決算額
財源内訳	国・県支出金	0
	地方債	157,200
	その他	0
	一般財源	151,129
計		308,329

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

事業の概要

【問合せ先】工業団地整備係 0857-20-3225

【9次総の施策体系】5102

【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 当初予算・P133（経048）、12月補正予算・P28（経008）

【事業の概要】
 分譲可能な工業用地不足を解消し企業誘致を戦略的に行うため、新たな工業用地を整備する。

【事業の成果】
 関西機械要素技術展に出展（工業団地PR）
 河原インター山手工業団地整備
 平成23年度 44,250千円 造成実施設計 上下水道基本設計
 平成24年度 162,203千円 上下水道実施設計 上水道工事
 平成25年度 308,329千円 上下水道工事
 （翌年度繰越額 69,332千円 上下水道工事）

【今後の課題・方向性】
 企業訪問を通じて、本市工業団地への企業進出の働きかけを強化する。
 また、河原インター山手工業団地の関連公共施設の整備を促進し、団地造成工事に着手する。

(参考)	
前年度決算額	162,203

評価結果	経済情勢が好転しつつある中、新たな設備投資や、BCPによるリスク分散の検討を行う企業もあり、大震災発生の可能性が極めて低い本市にとっては企業誘致の絶好の好機であり、誘致活動の積極的な取組が求められている。本市の分譲可能な工業用地は不足をきたしている。そこで、企業誘致を戦略的に行うため、その受け皿となる新たな工業団地を整備する。
------	--

経済観光部
 企業立地・支援課

経043	項目名	企業立地促進資金貸付金
------	-----	-------------

主要な施策	企業誘致促進事業費	ページ	39
-------	-----------	-----	----

所属名	経済観光部 企業立地・支援課
-----	-------------------

年度	H25
----	-----

事業の概要

会計名	一般会計
款	商工費
項	商工費
目	商工業振興費

【問合せ先】誘致・支援係 0857-20-3223

【9次総の施策体系】5102

【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 当初予算・P134（経049）

【事業の概要】
 市内に工場の新増設を行う企業に対して行われる融資に対し、預託を行う。

【事業の成果】
 本市への企業立地を促進し、産業構造の高度化及び雇用機会の拡大を図るため、金融機関と協調して低利な貸付制度を実施した。
 <預託件数>
 平成23年度 24件
 平成24年度 23件
 平成25年度 24件

【今後の課題・方向性】
 企業立地・事業拡大の促進に向け、事業を実施する。

（単位：千円）	
当初予算額	352,439

補正予算額	△ 23,915
-------	----------

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	328,524
-------	---------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	328,524
その他	0

本年度決算額	328,524
--------	---------

区分	決算額	
財源内訳	国・県支出金	0
	地方債	0
	その他	328,524
	一般財源	0
	計	328,524

(参考)	
前年度決算額	256,868

評価結果	今後も、工場等の新増設を行う企業に対して低利な貸付（金融機関に融資の一部を預託）となる支援制度の実施に努め、企業立地の促進と、雇用機会の拡大を図る。
------	--

経044	項目名	企業立地促進補助金
------	-----	-----------

主要な施策	企業誘致促進事業費	ページ	39	所属名
-------	-----------	-----	----	-----

年度	H25
----	-----

会計名	
一般会計	
款	商工費
項	商工費
目	商工業振興費

(単位:千円)	
当初予算額	149,739

補正予算額	△ 50,488
-------	----------

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	99,251
-------	--------

本年度決算額	57,369
--------	--------

区分	決算額	
財源内訳	国・県支出金	0
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	57,369
計	57,369	

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

事業の概要

【問合せ先】誘致・支援係 0857-20-3223

【9次総の施策体系】5102

【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 当初予算・P134（経050）、8月補正予算・P18（経003）

【事業の概要】
 企業の立地を促進し、産業構造の高度化及び雇用機会の拡大を図る。

【事業の成果】

平成23年度	企業立地補助金	6件	142,868千円
	情報通信補助金	3件	2,948千円
平成24年度	企業立地補助金	17件	391,042千円
	情報通信補助金	5件	3,995千円
平成25年度	企業立地補助金	6件	53,461千円
	情報通信補助金	3件	3,908千円

【今後の課題・方向性】
 市民生活を支え、地域経済を活性化していくために雇用機会を確保することは市政の重要課題である。
 市内企業の生産基盤の高度化や競争力の強化を支援するとともに、新規企業立地を促進することにより雇用創造を図る本事業は、重点を置く施策として拡充を図りながら実施する。

(参考)	
前年度決算額	395,037

評価結果	本市の人口増加につなげるためには、市長がマニフェストに掲げる雇用の場の創出は最重要事項である。生活が安定することで、結婚・出産にふみきる市民も想定され、自然増につながる要因にもなる。企業ニーズに沿って制度を見直しながら支援することで、企業進出や設備投資の後押しとなるとともに、都市間競争を勝ち抜くことで、地域の活性化につなげていく。
------	--

経済観光部
 企業立地・支援課

経045	項目名	雇用維持・創出支援事業
------	-----	-------------

主要な施策	企業誘致促進事業費	ページ	39	所属名
-------	-----------	-----	----	-----

年度	H25
----	-----

会計名	
一般会計	
款	商工費
項	商工費
目	商工業振興費

(単位:千円)	
当初予算額	205,546

補正予算額	△ 18,746
-------	----------

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	186,800
-------	---------

本年度決算額	177,667
--------	---------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	0
一般財源	177,667
計	177,667

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

事業の概要

【問合せ先】誘致・支援係 0857-20-3223
【9次総の施策体系】5102
【予算計上の経過】
予算事業別概要目次
当初予算・P135 (経051)
【事業の概要】
①鳥取市大量雇用創出奨励金
対象者：次の要件を満たす企業に対して助成を行う
・鳥取市情報通信関連企業立地促進補助金交付要綱第5条に基づく指定を受けている者
・市長から雇用計画（年間20人以上増）の認定を受けた者
補助金額：新規常用雇用者数×20万円
※鳥取県「大量雇用創出奨励金」と協調して行う。
②鳥取市液晶産業雇用支援補助金
対象者：次の要件を満たす企業に対して助成を行う
・液晶関連の事業を営む者
・工場等から排出する汚水の量が、日量3,000立方メートル以上である者
・500人以上の常用雇用者を有する者
補助金額：下水道使用料－（使用水量×107円/m³×1.05）と増加した正規雇用者数×20万円の合計額
【事業の成果】
市内企業の雇用維持・雇用創出を促進し、地域経済の発展につなげた。
◇補助金交付企業数
①鳥取市大量雇用創出奨励金：H23 1社、H24 2社、H25 2社
②鳥取市液晶産業雇用支援補助金：H23 1社、H24 1社、H25 1社
【今後の課題・方向性】
雇用の維持・創出を図るため、継続して実施する。

(参考)	
前年度決算額	216,637

評価結果
リーマンショック以降、大手企業の事業再編等により、国内製造業は非常に厳しい状況にある。国の経済政策により一定の回復基調は見られるが、本市の基幹産業である電機・電子分野を含む製造業及び事務系業種は依然として雇用情勢が厳しい状況が続いている。このため、本事業により当該業種の更なる雇用創出を図りたい。

経済観光部
企業立地・支援課

経046	項目名	賃貸型工場設置補助金
------	-----	------------

主要な施策	企業誘致促進事業費	ページ	39
-------	-----------	-----	----

所属名	経済観光部 企業立地・支援課
-----	-------------------

年度	H25
----	-----

会計名	一般会計
款	商工費
項	商工費
目	商工業振興費

(単位:千円)	
当初予算額	380,000

補正予算額	0
-------	---

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	380,000
-------	---------

本年度決算額	380,000
--------	---------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	190,000
地方債	0
その他	0
一般財源	190,000
計	380,000

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

<p>事業の概要</p> <p>【問合せ先】誘致・支援係 0857-20-3223</p> <p>【9次総の施策体系】5102</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P135 (経052)</p> <p>【事業の概要】 賃貸型工場の立地を支援することにより、企業の立地を推進する。</p> <p>【事業の成果】 平成23年度 対象企業 0件 平成24年度 対象企業 2件 479,991千円 平成25年度 対象企業 2件 380,000千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 本市の重要課題の一つである産業の活性化、雇用機会の拡大のため、企業誘致は最も必要な事業である。 進出する企業においては、地域のインフラや雇用環境などを様々な角度で検討した上で進出を決定することになるが、初期投資に要する経費も大きな判断材料となる。本事業で初期投資を軽減し企業誘致を促すことで、本市の産業の高度化や雇用の拡大を図る。 ただし、本事業を適用する企業については、本市を将来にわたってけん引していくような企業を選定して行きたい。</p>

(参考)	前年度決算額	479,991
------	--------	---------

評価結果	本制度は、本市に企業進出を決めてもらう切り札といえる非常に効果的な制度である。しかし、財政負担が高額となることから、対象企業の選定にあたっては、その企業の将来性を十分見極め、地域経済をより活性化し雇用創出の拡大が期待できる企業としたい。
------	--

経047	項目名	三洋跡地取得活用事業費
------	-----	-------------

主要な施策	企業誘致促進事業費	ページ	39
-------	-----------	-----	----

所属名	経済観光部 企業立地・支援課
-----	-------------------

年度	H25
----	-----

事業の概要

会計名	一般会計
款	商工費
項	商工費
目	商工業振興費

【問合せ先】誘致・支援係 0857-20-3223

【9次総の施策体系】5102

【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 7月補正予算（7月29日提案分）・P2（経002）

【事業の概要】
 三洋電機（株）南吉方工場跡地を工場用地として活用するため、当該用地を取得する。

【事業の成果】
 取得面積 51,028.57㎡
 取得価格 1,786,000千円

【今後の課題・方向性】
 三洋電機（株）南吉方工場跡の用地は、県内でも数少ない工業インフラの整った貴重な用地であり、多くの雇用を創出する工業用地として活用する。

(単位:千円)

当初予算額	0
-------	---

補正予算額	1,786,000
-------	-----------

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	1,786,000
-------	-----------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	1,786,000
諸収入	0
その他	0

本年度決算額	1,786,000
--------	-----------

区分	決算額	
財源内訳	国・県支出金	0
	地方債	0
	その他	1,786,000
	一般財源	0
計	1,786,000	

(参考)

前年度決算額	0
--------	---

評価結果	本市において不足している工業用地の確保は、企業誘致による地域経済の活性化を図るためにも重要な施策と考えている。今後も他に工業用地として有効な一団の土地があれば、随時活用を検討して行きたいと考えている。
------	--

経048	項目名	ビジネスマッチング支援事業費
------	-----	----------------

主要な施策	中小企業新規開発奨励事業費	ページ	39
-------	---------------	-----	----

所属名	経済観光部 企業立地・支援課
-----	-------------------

年度	H25
----	-----

事業の概要

会計名	一般会計
款	商工費
項	商工費
目	商工業振興費

当初予算額	7,000
-------	-------

補正予算額	0
-------	---

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	7,000
-------	-------

本年度決算額	6,599
--------	-------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	0
一般財源	6,599
計	6,599

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

【問合せ先】誘致・支援係 0857-20-3223

【9次総の施策体系】5102

【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 当初予算・P136（経053）

【事業の概要】
 自社の商品、製品及び技術等売り込むため、展示会等への出展及びホームページ作成に要する経費の一部を補助する。

【事業の成果】
 中小企業者の販売力及び競争力を向上させ、本市の産業振興を図るため、中小企業等が行う商品、製品、技術等の販路開拓事業を支援した。

〈補助件数〉
 平成23年度 52件
 平成24年度 22件
 平成25年度 22件

【今後の課題・方向性】
 中小企業の支援を目的として、今後も継続して実施する。

(参考)	
前年度決算額	5,779

評価結果	平成26年3月に策定された「第3次鳥取市経済再生・雇用創造戦略」にあげる、地域資源販路拡大推進プロジェクトの事業であり、また、中小企業者からのニーズも高いため、継続して実施する。
------	---

経049	項目名	鳥取市LED産業活性化事業費
------	-----	----------------

主要な施策	地域経済活性化促進事業費	ページ	39
-------	--------------	-----	----

所属名	経済観光部 企業立地・支援課
-----	-------------------

年度	H25
----	-----

事業の概要

会計名	一般会計
款	商工費
項	商工費
目	商工業振興費

【問合せ先】誘致・支援係 0857-20-3223

【9次総の施策体系】5102

【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 当初予算・P117（経016）

【事業の概要】
 LED新商品の開発、改良、信頼性評価試験を行うための必要な経費に対し支援を行う。

【事業の成果】
 鳥取発のオンリーワン新商品の量産化に向けた開発、改良等に係る経費を支援することにより、成長産業であるLED産業を活性化させた。

<補助件数>
 平成25年度（新規） 5件

【今後の課題・方向性】
 25年度で、終了とする。

（単位：千円）	
当初予算額	0

補正予算額	0
-------	---

予算流・充用額	4,500
---------	-------

最終予算額	4,500
-------	-------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

本年度決算額	4,364
--------	-------

区分	決算額	
財源内訳	国・県支出金	0
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	4,364
	計	4,364

(参考)	
前年度決算額	0

評価結果	LED産業のみに特化しての新商品の開発等への支援は、一定の成果を生むことができたので25年度をもって終了する。
------	---

経050	項目名	中小企業人材育成支援事業補助金
------	-----	-----------------

主要な施策	中小企業・商業活性化対策事業費	ページ	39
-------	-----------------	-----	----

所属名	経済観光部 企業立地・支援課
-----	-------------------

年度	H25
----	-----

事業の概要

会計名	一般会計
款	商工費
項	商工費
目	商工業振興費

【問合せ先】誘致・支援係 0857-20-3223

【9次総の施策体系】5102

【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 当初予算・P136（経054）

【事業の概要】
 積極的に経営の向上、経営拡大を図る市内の中小企業者が行う人材育成を支援することにより、本市産業の活性化及び雇用の拡大を図る。

【事業の成果】
 積極的に経営の向上、経営拡大を図る市内の中小企業者が行う人材育成を支援した。
 補助件数
 平成23年度 3件
 平成24年度 3件
 平成25年度 4件

【今後の課題・方向性】
 従業員の技能向上など、本市中小企業の人材育成のため、支援を継続する。

(単位:千円)

当初予算額	700
-------	-----

補正予算額	0
-------	---

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	700
-------	-----

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

本年度決算額	315
--------	-----

区分	決算額	
財源内訳	国・県支出金	0
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	315
計	315	

(参考)

前年度決算額	244
--------	-----

評価結果	中小企業にとって従業員等への人材育成は必要且つ大きな課題であり、今後も積極的に支援を行う。
------	---

経051	項目名	観光活動事業費
------	-----	---------

主要な施策	観光活動費	ページ	39
-------	-------	-----	----

所属名	経済観光部 観光コンベンション推進課
-----	-----------------------

年度	H25
----	-----

事業の概要

会計名	一般会計
款	商工費
項	商工費
目	観光費

【問合せ先】観光政策係 0857-20-3227

【9次総の施策体系】5201

【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 当初予算・P239（経055）

【事業の概要】
 関係団体との連携を密にして観光行政の円滑な推進を図るとともに、首都圏や関西圏等での積極的な活動を行い、鳥取市でのコンベンション開催の誘致に努めることにより、観光PRと観光客の増加を図った。
 また、HOT連携を推進するため、姫路市、岡山市と連携し3都市への誘客と都市間交流を図った。

【事業の成果】
 (1) 関係団体との連絡調整
 (2) コンベンション誘致活動
 (3) 各種イベントへの郷土芸能団体・しゃんしゃん鈴の音大使等の派遣
 (4) HOTトライアングル関連事業

【今後の課題・方向性】
 本市の観光プロモーションを行っていく上で必要な事業であり、今後も継続して実施することが必要である。

(単位:千円)

当初予算額	2,038
補正予算額	0
予算流・充用額	230

最終予算額	2,268
本年度決算額	2,079

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

区分	決算額	
財源内訳	国・県支出金	0
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	2,079
計	2,079	

(参考)

前年度決算額	1,045
--------	-------

評価結果	本市の観光プロモーションを行っていく上で必要な事業であり、今後も継続して実施することが必要である。
------	---

経052	項目名	桜まつり事業委託費
------	-----	-----------

主要な施策	観光活動費	ページ	39
-------	-------	-----	----

所属名	経済観光部 観光コンベンション推進課
-----	-----------------------

年度	H25
----	-----

事業の概要

会計名	一般会計
款	商工費
項	商工費
目	観光費

【問合せ先】観光政策係 0857-20-3227

【9次総の施策体系】5201

【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 当初予算・P239（経056）

【事業の概要】
 桜の名所である鳥取城跡周辺や袋川周辺にボンボリ等の設置・点灯を行うことにより、市民に憩いの場を提供するとともに観光客の誘客を行った。

【事業の成果】
 桜の開花時期に合わせ、ボンボリを鳥取城跡周辺や袋川周辺に設置・点灯し、市民や観光客の誘客を行うとともに、中心市街地のにぎわい創出を図った。
 平成25年度 ぼんぼり 252基 照明用ライト 105基

【今後の課題・方向性】
 通年、四季折々のイベントを開催し、観光客を呼び込むことは大切であり、桜のシーズンに多くの市民・観光客を呼び込む事業として継続実施していく。

(単位:千円)

当初予算額	5,601
補正予算額	3,757

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	9,358
-------	-------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

本年度決算額	9,358
--------	-------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	0
一般財源	9,358
計	9,358

(参考)

前年度決算額	5,601
--------	-------

評価結果	通年、四季折々のイベントを開催し、観光客を呼び込むことは大切であり、桜のシーズンに多くの市民・観光客を呼び込む事業として継続実施していく。今後も引き続き手法、エリアについて見直す必要がある。
------	---

経053	項目名	観光ボランティア活性化事業費
------	-----	----------------

主要な施策	観光活動費	ページ	39
-------	-------	-----	----

所属名	経済観光部 観光コンベンション推進課
-----	-----------------------

年度	H25
----	-----

会計名	一般会計
款	商工費
項	商工費
目	観光費

(単位:千円)	
当初予算額	1,912

補正予算額	0
-------	---

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	1,912
-------	-------

本年度決算額	1,912
--------	-------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	0
一般財源	1,912
計	1,912

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

事業の概要

【問合せ先】観光振興係 0857-20-3227

【9次総の施策体系】5201

【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 当初予算・P239（経058）

【事業の概要】
 本市のホスピタリティの強化とともに、おもてなしの心による観光振興を図った。
 ①観光ガイドを養成して、観光客に本市の魅力をPRする。
 ②観光大学を開催して、本市のホスピタリティの向上を目指す。

【事業の成果】
 (1) 観光ボランティアガイド利用者数
 平成23年度 8,216人
 平成24年度 7,685人
 平成25年度 8,073人
 (2) 観光マイスター認定数（平成25年度末累計313人）
 平成23年度 39人
 平成24年度 34人
 平成25年度 25人

【今後の課題・方向性】
 おもてなし力の向上に向けて、観光マイスターやボランティアガイドを活用した取り組みを強化し、観光客の受け入れ体制の充実を図る。

(参考)

前年度決算額	1,922
--------	-------

評価結果	観光地や観光施設でボランティアとして活躍する観光ガイドや、観光事業者やタクシー乗務員が取得している観光マイスターは、観光客に本市の魅力を紹介するために重要な役割を担っており、今後も事業を継続する必要がある。
------	---

経054	項目名	「恋人の聖地／白兔海岸」推進事業
------	-----	------------------

主要な施策	観光活動費	ページ	39
-------	-------	-----	----

所属名	経済観光部 観光コンベンション推進課
-----	-----------------------

年度	H25
----	-----

事業の概要

会計名	一般会計
款	商工費
項	商工費
目	観光費

当初予算額	2,008
-------	-------

補正予算額	△ 509
-------	-------

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	1,499
-------	-------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

本年度決算額	1,498
--------	-------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	0
一般財源	1,498
計	1,498

【問合せ先】 観光振興係 0857-20-3227

【9次総の施策体系】 5201

【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 当初予算・P239（経059）

【事業の概要】
 (1) 地域の新たな魅力づくりと情報発信を図ること及び少子化対策と地域の活性化を目的として、NPO法人地域活性化センターが全国展開している「恋人の聖地」に白兔海岸が選定されたことに伴い、同法人に対し活動負担金を拠出した。
 (2) 「恋人の聖地／白兔海岸」をPRするためのイベントを実施し、市民及び県外からの誘客を図った。

【事業の成果】
 「恋人の聖地／白兔海岸」をPRするためのイベントを実施した。
 平成25年 8月 1日 はくと祭り2013
 平成25年10月13日 白兔海岸うさぎふれあいイベント

【今後の課題・方向性】
 県内外から訪れる観光客に対して、白兔海岸の更なる魅力をPRするために、より効果的な事業を継続実施する。

(参考)

前年度決算額	3,489
--------	-------

評価結果	県内外から訪れる観光客に対して、白兔海岸の更なる魅力をPRするために、事業を継続実施する必要がある。
------	--

経055	項目名	観光なでしこチーム活動促進事業費
------	-----	------------------

主要な施策	観光活動費	ページ	39
-------	-------	-----	----

所属名	経済観光部 観光コンベンション推進課
-----	-----------------------

年度	H25
----	-----

事業の概要

会計名	
一般会計	
款	商工費
項	商工費
目	観光費

【問合せ先】観光政策係 0857-20-3227

【9次総の施策体系】5201

【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 当初予算・P239（経060）

【事業の概要】
 女性の視点により観光資源の掘り起こしを行い、多くの観光客を呼び込むことを目的として、「鳥取市観光なでしこチーム」を設置、情報発信を行った。

【事業の成果】
 チーム員による観光地の取材を行い、民間フリーペーパーに記事を掲載（Peeba×TORInavi 10月号、2ページ）することにより情報発信を行った。

【今後の課題・方向性】
 女性の視点による観光資源の掘り起こしは重要であるが、費用対効果の観点などから事業形態の見直しを行う。

(単位:千円)

当初予算額	660
補正予算額	0

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	660
-------	-----

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

本年度決算額	660
--------	-----

区分		決算額
財源内訳	国・県支出金	0
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	660
	計	660

(参考)

前年度決算額	898
--------	-----

評価結果	女性の視点による観光資源の掘り起こしは重要であるが、費用対効果の観点などから、他の事業との統合も含め事業形態の見直しを行う必要がある。
------	---

経056	項目名	吉岡温泉活性化事業費
------	-----	------------

主要な施策	観光活動費	ページ	39
-------	-------	-----	----

所属名	経済観光部 観光コンベンション推進課
-----	-----------------------

年度	H25
----	-----

事業の概要

会計名	一般会計
款	商工費
項	商工費
目	観光費

【問合せ先】観光振興係 0857-20-3227

【9次総の施策体系】5201

【予算計上の経過】
予算事業別概要目次
当初予算・P239（経061）

【事業の概要】

- （1）県外からの来訪の多く見込めるイベントにおいて、市として観光客へのおもてなしの向上と、湯の街とつとりを強くアピールすることを目的に、吉岡温泉町に委託することにより足湯等を出展した。
- （2）温泉組合または町内会が温泉地としての魅力向上のため実施する景観整備事業に対して1件あたり500千円を限度として事業費の2分の1を補助した。
- （3）吉岡温泉ホテルまつりのイベント支援を行うことにより、県外からの誘客を図った。

【事業の成果】

- （1）平成25年11月3日 鳥取市木のまつりに足湯を出展。
100名を超す利用者があり、アンケート結果も非常に好評であった。
- （2）景観整備事業
平成23年度 5,000千円 平成24年度 500千円 平成25年度 500千円
- （3）平成25年6月16日 吉岡温泉ほたるまつり 来客数4,500名
平成25年6月1日から20日 ホテル漁火観光バス運行 利用者数224名

【今後の課題・方向性】
吉岡温泉関係者と協議を行い、吉岡温泉認知度の更なる向上や、市の温泉権活用のための方策について検討する必要がある。

(単位:千円)

当初予算額	1,506
補正予算額	0

予算流・充用額	△ 493
---------	-------

最終予算額	1,013
-------	-------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

本年度決算額	1,006
--------	-------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	0
一般財源	1,006
計	1,006

(参考)

前年度決算額	216
--------	-----

評価結果	吉岡温泉の認知度の向上及び温泉権の有効活用のため、地元関係者と吉岡温泉の今後について協議を行う。
------	--

経057	項目名	全国都市緑化とっとりフェア誘客促進事業費
------	-----	----------------------

主要な施策	観光活動費	ページ	39
-------	-------	-----	----

所属名	経済観光部 観光コンベンション推進課
-----	-----------------------

年度	H25
----	-----

会計名	一般会計
款	商工費
項	商工費
目	観光費

(単位:千円)	
当初予算額	0

補正予算額	1,195
-------	-------

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	1,195
-------	-------

本年度決算額	954
--------	-----

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	0
一般財源	954
計	954

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

事業の概要

【問合せ先】観光振興係 0857-20-3227

【9次総の施策体系】5201

【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 5月補正予算・P11（経001）、6月補正予算・P27（経003）

【事業の概要】
 鳥取市観光コンベンション協会への委託により民間事業者へ補助金を交付し、全国都市緑化とっとりフェアへの誘客促進を図った。

(1) 全国都市緑化とっとりフェア旅行商品造成支援事業補助金
 対象事業者 旅行業法施行規則第1条の2に基づく第1種旅行業務、第2種旅行業務及び第3種旅行業務の登録を受けた事業者
 対象事業 鳥取県以外の地域を出発する日帰りバスツアー
 緑化フェア及び砂の美術館の入場を組み込んだもの
 補助額 バス1台あたり15,000円（80台分 1事業者の上限6万円）

(2) 全国都市緑化とっとりフェア宿泊商品造成支援事業補助金
 対象事業者 旅館業法第3条第1項に基づく営業許可を受けた事業者
 対象事業 県外客が市内宿泊施設を1泊以上利用する企画商品
 緑化フェア及び砂の美術館の入場を組み込んだもの
 補助額 宿泊客1名あたり2,000円（500人分 1施設の上限10万円）

【事業の成果】
 (1) 旅行商品造成支援事業 バスツアー参加者実績1,626人
 (2) 宿泊商品造成支援事業 宿泊プラン利用者実績165人

(参考)	
前年度決算額	0

評価結果	目標値を下回ったが、緑化フェアへの誘客に一定の効果を収めることができた（事業は平成25年度限りで終了）
------	---

経058	項目名	知名度アップイベント推進事業
------	-----	----------------

主要な施策	観光宣伝事業費	ページ	39
-------	---------	-----	----

所属名	経済観光部 観光コンベンション推進課
-----	-----------------------

年度	H25
----	-----

事業の概要

会計名	一般会計
款	商工費
項	商工費
目	観光費

(単位:千円)

当初予算額	8,397
補正予算額	△ 74
予算流・充用額	△ 320

最終予算額	8,003
本年度決算額	7,838

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	7,838
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

区分	決算額	
財源内訳	国・県支出金	0
	地方債	0
	その他	7,838
	一般財源	0
計	7,838	

【問合せ先】観光振興係 0857-20-3227

【9次総の施策体系】5201

【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 当初予算・P239 (経063)

【事業の概要】
 鳥取県への観光客として有望な市場である関西圏を中心に、県外で集客力のあるイベントやガイナールのアウェイ戦を活用し、砂の美術館をはじめとして鳥取の観光をPRした。首都圏では、メディアに取り上げられやすい”ふるさと祭り東京”にブースを出展し、鳥取のしゃんしゃん傘踊りや食をPRした。これらの事業を通じて、鳥取市への観光客の更なる誘客を図った。

【事業の成果】
 (1) 首都圏／ふるさと祭り東京への傘踊り派遣、ブース出展
 (2) 関西圏／JRA阪神競馬場でのPR活動
 (3) 中京圏／旅まつり名古屋への傘踊り派遣
 (4) ガイナール鳥取を活用したアウェイ戦における県外への情報発信

【今後の課題・方向性】
 本市の知名度アップむに向けて、あらゆる機会や交流の場を捉えて観光PRを行っていき

(参考)

前年度決算額	9,344
--------	-------

評価結果	単にイベント出演を行っていても知名度の効果的な向上は見込めない。そのためには、テレビ等のメディア出演やニュース性のある企画内容を提案することが必要である。
------	---

経059	項目名	宣伝推進事業費
------	-----	---------

主要な施策	観光宣伝事業費	ページ	39
-------	---------	-----	----

所属名	経済観光部 観光コンベンション推進課
-----	-----------------------

年度	H25
----	-----

事業の概要

会計名	一般会計
款	商工費
項	商工費
目	観光費

【問合せ先】観光政策係 0857-20-3227

【9次総の施策体系】5201

【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 当初予算・P239（経064）

【事業の概要】
 県外旅行会社に対し、本市の魅力ある観光素材や観光ルート、イベント等を積極的に紹介し、旅行企画の提案を行い、本市に訪れる観光客の誘客を図った。また、マスコミ・メディアへの旬な観光情報を提供し、全国へ情報発信を行った。

【事業の成果】
 砂の美術館、鳥取砂丘イリュージョンの旅行商品造成が行われ、本市への観光誘客が図られた。また、全国ネットTV等、各種メディア媒体による本市の観光情報発信が行われた。

【今後の課題・方向性】
 観光客の増加及び本市の知名度を上げていく上でも必要な事業であり、今後も効果のある宣伝活動を検討・実施していく必要がある。

(単位:千円)

当初予算額	26,472
補正予算額	75

予算流・充用額	△ 136
---------	-------

最終予算額	26,411
-------	--------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	16,621
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	9,500
その他	0

本年度決算額	26,121
--------	--------

区分	決算額	
財源内訳	国・県支出金	0
	地方債	0
	その他	26,121
	一般財源	0
計	26,121	

(参考)

前年度決算額	24,140
--------	--------

評価結果	観光客の増加及び本市の知名度を上げていく上でも必要な事業であり、今後も効果のある宣伝活動を実施していく。
------	--

経060	項目名	姫路お城まつり派遣事業費
------	-----	--------------

主要な施策	観光宣伝事業費	ページ	39
-------	---------	-----	----

所属名	経済観光部 観光コンベンション推進課
-----	-----------------------

年度	H25
----	-----

事業の概要

会計名	一般会計
款	商工費
項	商工費
目	観光費

【問合せ先】観光振興係 0857-20-3227

【9次総の施策体系】5201

【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 当初予算・P239（経065）

【事業の概要】
 本市の郷土芸能「しゃんしゃん傘踊り」を派遣し、本市の観光宣伝および姉妹都市姫路市との交流を深めた。

【事業の成果】
 姫路お城まつりにしゃんしゃん鈴の音大使、傘踊り連を派遣し、イベントステージ及びパレード傘踊りを披露し、第49回鳥取しゃんしゃん祭りのPRを行った。

【今後の課題・方向性】
 姉妹都市である姫路市との間のイベント交流を実施し、都市間の結びつきを強めることで経済活性化や観光客誘致に繋げたい。

(単位:千円)

当初予算額	210
-------	-----

補正予算額	0
-------	---

予算流・充用額	△ 195
---------	-------

最終予算額	15
-------	----

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

本年度決算額	8
--------	---

区分	決算額	
財源内訳	国・県支出金	0
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	8
計	8	

(参考)

前年度決算額	181
--------	-----

評価結果	姫路お城祭りへの鈴の音大使、踊り子連の派遣は、開催前のしゃんしゃん祭りのPRに一定の効果はあるものの、地域間交流の意味合いが強く、多くの誘客に結び付いていない。 今後は、知名度アップ事業との統合も視野に入れて事業を検討していく。
------	---

経061	項目名	国際観光推進事業
------	-----	----------

主要な施策	観光宣伝事業費	ページ	39
-------	---------	-----	----

所属名	経済観光部 観光コンベンション推進課
-----	-----------------------

年度	H25
----	-----

事業の概要

会計名	一般会計
款	商工費
項	商工費
目	観光費

【問合せ先】観光振興係 0857-20-3227
 【9次総の施策体系】5201
 【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 当初予算・P239（経066）、12月補正予算・P61（009）

（単位：千円）	
当初予算額	34,963

【事業の概要】
 東アジア市場をはじめとする環日本海諸国における本市の知名度をアップさせ、外国人観光客の受入体制の整備、効果的な誘客宣伝・広報活動を行うことにより、本市の国際観光を推進し、地域経済活性化を図った。

補正予算額	2,148
-------	-------

【事業の成果】

	国際観光客サポートセンター 外国人窓口案内人数	外国人観光客 周遊タクシー利用人数
平成23年度	1,229人	435人
平成24年度	1,748人	500人
平成25年度	3,009人	970人

予算流・充用額	322
---------	-----

最終予算額	37,433
-------	--------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	5,590
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

本年度決算額	36,606
--------	--------

【今後の課題・方向性】
 2020年に開催される東京オリンピックや、アジア諸国の高い経済成長に伴い、日本への外国人旅行者のさらなる増加が期待できる。今後は、外国人旅行者のニーズをとらえてさまざまな取り組みを進めていくとともに、大都市圏内に集中する外国人観光客の次の選択肢として鳥取を選んでいただくよう観光資源の磨き上げや情報発信をしていくことが必要である。

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	3,603
地方債	0
その他	5,590
一般財源	27,413
計	36,606

(参考)

前年度決算額	36,003
--------	--------

評価結果	外国人旅行者のニーズをとらえるとともに、鳥取独自の良さをアピールしていくため、どのようなルートを使って鳥取市に入っているかのデータを独自に調査・管理し、それぞれの国の観光客に対してきめ細やかな対応をしていく。
------	--

経062	項目名	観光協会等補助金
------	-----	----------

主要な施策	各種団体補助金負担金	ページ	39
-------	------------	-----	----

所属名	経済観光部 観光コンベンション推進課
-----	-----------------------

年度	H25
----	-----

事業の概要

会計名	一般会計
款	商工費
項	商工費
目	観光費

【問合せ先】観光政策係 0857-20-3227

【9次総の施策体系】5201

【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 当初予算・P239（経068）

【事業の概要】
 本市観光事業の健全なる発展を目的に組織されている（社）鳥取市観光コンベンション協会の運営に要する経費を補助することにより、事業の円滑な運営を推進し、もって本市の観光振興を図った。

【事業の成果】
 鳥取市観光コンベンション協会は、観光案内所、国際観光客サポートセンター及び砂の美術館の運営、観光客誘致のためのプロモーション活動、コンベンション誘致の強化、物産販売、着地型旅行商品の造成・販売など、本市や各種団体との連携した取り組みを行った。

【今後の課題・方向性】
 観光産業を取り巻く環境の変化に適応しながら、既存事業の見直しや職員のスキルアップ、収益性の改善を図るなど、組織改革を行う必要がある。

（単位：千円）	
当初予算額	38,208

補正予算額	0
-------	---

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	38,208
-------	--------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

本年度決算額	38,208
--------	--------

区分	決算額	
財源内訳	国・県支出金	0
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	38,208
	計	38,208

(参考)	
前年度決算額	41,688

評価結果	鳥取市観光コンベンション協会は、法人格を取得した団体として3年目となり、本市と連携した取り組みを行っている。今後は、既存事業の見直しや職員のスキルアップ、収益性の改善など組織強化も求められる。
------	--

経063	項目名	しゃんしゃん祭振興会補助金
------	-----	---------------

主要な施策	各種団体補助金負担金	ページ	39
-------	------------	-----	----

所属名	経済観光部 観光コンベンション推進課
-----	-----------------------

年度	H25
----	-----

事業の概要

会計名	
一般会計	
款	商工費
項	商工費
目	観光費

(単位:千円)	
当初予算額	25,447

補正予算額	0
-------	---

予算流・充用額	722
---------	-----

最終予算額	26,169
-------	--------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

本年度決算額	26,168
--------	--------

区分	決算額	
財源内訳	国・県支出金	0
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	26,168
計	26,168	

【問合せ先】観光振興係 0857-20-3227

【9次総の施策体系】5201

【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 当初予算・P239（経069）

【事業の概要】
 鳥取しゃんしゃん祭振興会に補助金を交付し、祭り開催を支援した。
 第49回大会は、駅前太平線バードハットを新たな会場に位置づけ、一斉傘踊りのケースとして活用を図るなど、祭りの魅力を高める新たな取り組みを展開した。

【事業の成果】
 8月10日から15日までの6日間をしゃんしゃんウィークとして開催。8月14日の一斉傘踊りには100連4000人の踊り子が出場し、期間中の合計で385,900人が来場した。
 平成23年度 8月6日～15日開催、来場者数398,300人
 平成24年度 8月11日～15日開催、来場者数372,400人
 平成25年度 8月10日～15日開催、来場者数385,900人

【今後の課題・方向性】
 祭りの魅力と全国的な知名度をさらに高めるとともに、祭り開催に合わせた県外観光客受け入れ体制を強化する必要がある。

(参考)	
前年度決算額	20,544

評価結果	鳥取県東部最大の祭りとして定着しており、にぎわい創出と観光振興のため、今後も官民一体で祭りの充実を図る必要がある。今後、祭り開催に合わせた観光客受け入れ体制を強化する必要がある。
------	---

経064	項目名	コンベンション誘致支援事業費
------	-----	----------------

主要な施策	各種団体補助金負担金	ページ	39
-------	------------	-----	----

所属名	経済観光部 観光コンベンション推進課
-----	-----------------------

年度	H25
----	-----

事業の概要

会計名	一般会計
款	商工費
項	商工費
目	観光費

【問合せ先】観光政策係0857-20-3227

【9次総の施策体系】5201

【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 当初予算・239（経070）

【事業の概要】

- 財団法人とっとりコンベンションビューローが行うコンベンション開催助成金交付制度の財源として、鳥取市開催分のコンベンションに対し、交付基準額の1/2を乗じて得た額以内で算出し、予算の範囲内で交付した。
- 上記の助成対象外となる延べ宿泊人数200泊未満の小規模コンベンションについて、本市内開催分について補助金制度を設け、コンベンションの種類に応じて予算の範囲内で補助金を交付した。なお、事業実施については、鳥取市観光コンベンション協会に間接補助をする形態とした。

【事業の成果】
 コンベンション開催件数
 平成23年度 (1) 22件 (2) 53件
 平成24年度 (1) 26件 (2) 42件
 平成25年度 (1) 39件 (2) 25件

【今後の課題・方向性】
 コンベンションは宿泊も伴い、地域に直接的に経済効果を与える重要なものであるため、とっとりコンベンションビューローの制度と合わせて継続する必要がある。

(単位:千円)

当初予算額	11,250
補正予算額	1,265
予算流・充用額	0

最終予算額	12,515
本年度決算額	10,506

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

区分	決算額	
財源内訳	国・県支出金	0
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	10,506
	計	10,506

(参考)

前年度決算額	8,477
--------	-------

評価結果	宿泊を伴うコンベンションの誘致は、地域に直接的な経済効果を与えるため、とっとりコンベンションビューローの制度と連携し鳥取市への誘致活動を継続実施していく。
------	---

経065	項目名	ループバス運行支援助成費
------	-----	--------------

主要な施策	各種団体補助金負担金	ページ	39
-------	------------	-----	----

所属名	経済観光部 観光コンベンション推進課
-----	-----------------------

年度	H25
----	-----

事業の概要

会計名	
一般会計	
款	商工費
項	商工費
目	観光費

【問合せ先】観光政策係 0857-20-3227

【9次総の施策体系】5201

【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 当初予算・P239（経071）

【事業の概要】
 「ループ麒麟獅子」は、鳥取市内観光地を巡る周遊バスとして、JR鳥取駅を基点とする本市観光の二次交通を担い、観光活性化に重要な役割を果たした。

【事業の成果】

	補助額	利用者数
平成23年度	7,007千円	16,515人
平成24年度	5,395千円	22,013人
平成25年度	6,608千円	21,207人

【今後の課題・方向性】
 二次交通を充実させることにより、誘客促進につなげていく。

(単位:千円)

当初予算額	6,608
-------	-------

補正予算額	0
-------	---

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	6,608
-------	-------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

本年度決算額	6,608
--------	-------

区分	決算額	
財源内訳	国・県支出金	0
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	6,608
計	6,608	

(参考)

前年度決算額	5,395
--------	-------

評価結果	ループ麒麟獅子は、市内観光地を回遊する二次交通として、観光振興や観光客の利便性を図れることから継続して運行支援を行う。
------	---

経066	項目名	観光イベント開催補助金
------	-----	-------------

主要な施策	各種団体補助金負担金	ページ	39
-------	------------	-----	----

所属名	経済観光部 観光コンベンション推進課
-----	-----------------------

年度	H25
----	-----

事業の概要

会計名	一般会計
款	商工費
項	商工費
目	観光費

【問合せ先】観光振興係 0857-20-3227

【9次総の施策体系】5201

【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 当初予算・P239（総073）

【事業の概要】
 地域や団体などが中心となって、魅力あふれる地域の伝統文化や歴史に因んだイベントを開催している。その各種観光イベントを支援することにより、全国に観光鳥取を情報発信し、観光客の誘致を図った。

【事業の成果】
 ふるさと鳥取桜まつり 平成25年4月6日（土）～7日（日）
 青い鳥コンサート 平成25年7月27日～8月3日（毎週土曜日・2回）
 市民納涼花火大会 平成25年8月15日（木）
 鳥取三十二万石お城まつり 平成25年9月29日（日）

【今後の課題・方向性】
 通年、四季折々のイベントを開催し、観光客を呼び込むことは大切であり、実行委員会が主体となった事業に対する補助を継続実施していく。

(単位:千円)

当初予算額	6,425
補正予算額	△166

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	6,259
-------	-------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

本年度決算額	6,219
--------	-------

区分	決算額	
財源内訳	国・県支出金	0
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	6,219
計	6,219	

(参考)

前年度決算額	7,249
--------	-------

評価結果	通年、四季折々のイベントを開催し、観光客を呼び込むことは大切であり、実行委員会が主体となった事業に対する補助を継続実施していく。イベント内容の企画や実施を観光・旅行商品に繋げていくような施策の展開が必要である。
------	---

経067	項目名	ジャンボタクシー運行助成事業費
------	-----	-----------------

主要な施策	各種団体補助金負担金	ページ	39
-------	------------	-----	----

所属名	経済観光部 観光コンベンション推進課
-----	-----------------------

年度	H25
----	-----

事業の概要

会計名	
一般会計	
款	商工費
項	商工費
目	観光費

【問合せ先】観光政策係 0857-20-3227

【9次総の施策体系】5201

【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 当初予算・P239（経074）

【事業の概要】
 首都圏からの東京便の利用者増に向けた二次交通の整備の充実を図るため、鳥取ハイヤー共同組合が行っている空港-砂丘間ジャンボタクシー運行について、鳥取県と鳥取市が1/2ずつ補助金を交付した。

【事業実績】

	補助額	利用者数
平成23年度	614千円	811人
平成24年度	597千円	922人
平成25年度	497千円	1,300人

【今後の課題・方向性】
 二次交通を充実させることにより、誘客促進につなげていく。

(単位:千円)

当初予算額	765
補正予算額	0
予算流・充用額	0

最終予算額	765
-------	-----

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

本年度決算額	497
--------	-----

区分	決算額	
財源内訳	国・県支出金	0
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	497
計	497	

(参考)

前年度決算額	597
--------	-----

評価結果	二次交通のツール確保のため継続して支援していく。
------	--------------------------

経068	項目名	観光地施設整備事業費
------	-----	------------

主要な施策	観光施設整備事業費	ページ	39
-------	-----------	-----	----

所属名	経済観光部 観光コンベンション推進課
-----	-----------------------

年度	H25
----	-----

事業の概要

会計名	
一般会計	
款	商工費
項	商工費
目	観光費

【問合せ先】観光政策係 0857-20-3227

【9次総の施策体系】5201

【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 当初予算・P147（経075）、12月補正予算・P61（経011）

【事業の概要】
 観光地の景観を保ち、観光地のイメージアップを図った。

【事業の成果】
 施設、遊歩道等の清掃・修繕などを実施し、維持管理に努めた。
 平成23年度 9,075千円
 平成24年度 9,238千円
 平成25年度 8,866千円

【今後の課題・方向性】
 必要な維持管理は継続していく。

(単位:千円)

当初予算額	8,491
-------	-------

補正予算額	567
-------	-----

予算流・充用額	97
---------	----

最終予算額	9,155
-------	-------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	318
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	2
その他	0

本年度決算額	8,866
--------	-------

区分	決算額	
財源内訳	国・県支出金	0
	地方債	0
	その他	319
	一般財源	8,547
計	8,866	

(参考)

前年度決算額	9,238
--------	-------

評価結果	各支所と連携しながら、必要な整備を行っていく。
------	-------------------------

経069	項目名	観光サイン設置事業費
------	-----	------------

主要な施策	観光施設整備事業費	ページ	39
-------	-----------	-----	----

所属名	経済観光部 観光コンベンション推進課
-----	-----------------------

年度	H25
----	-----

事業の概要

会計名	
一般会計	
款	商工費
項	商工費
目	観光費

【問合せ先】観光政策係 0857-20-3227

【9次総の施策体系】5201

【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 当初予算・P239（経077）

【事業の概要】
 市内全域の観光案内看板及び誘導看板等の整備を行い、観光情報発信及びスムーズな観光客の誘導を行った。

【事業の成果】
 ・白兔の丘PR看板設置
 ・鳥取西IC観光看板設置
 ・鳥取駅北口看板張替 等

【今後の課題・方向性】
 効果的かつ効率的な観光案内を行うため、新規設置や既存看板の更新・補修などを継続して実施する必要がある。

(単位:千円)

当初予算額	2,000
補正予算額	0

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	2,000
-------	-------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

本年度決算額	1,808
--------	-------

区分	決算額	
財源内訳	国・県支出金	418
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	1,390
計	1,808	

(参考)

前年度決算額	3,053
--------	-------

評価結果	観光客をスムーズに誘導するとともに、観光施設や観光地の情報を素早く的確に提供するため、新規整備や既存看板の維持管理を継続して実施する。
------	---

経070	項目名	鹿野往来交流館管理運営費
------	-----	--------------

主要な施策	観光施設整備事業費	ページ	39
-------	-----------	-----	----

所属名	経済観光部 観光コンベンション推進課
-----	-----------------------

年度	H25
----	-----

事業の概要

会計名	
一般会計	
款	商工費
項	商工費
目	観光費

(単位:千円)	
当初予算額	17,000

補正予算額	1,890
-------	-------

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	18,890
-------	--------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

本年度決算額	18,890
--------	--------

区分	決算額	
財源内訳	国・県支出金	0
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	18,890
計	18,890	

【問合せ先】観光政策係 0857-20-3227

【9次総の施策体系】5201

【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 12月補正予算・P61(経012)

【事業の概要】
 鳥取市鹿野往来交流館は地域の歴史、文化、本市の観光情報の発信及び地域の活性化を図るために整備しており、指定管理者制度の導入により、創意工夫に基づき民間的な要素を取り入れた、質の高い住民サービスの向上と経費節減、業務の効率化を図った。

【事業の成果】

	利用者数
平成23年度	17,637人
平成24年度	20,588人
平成25年度	16,012人

【今後の課題・方向性】
 指定管理者と連携し観光振興、利用者増加を図る。

(参考)	
前年度決算額	17,000

評価結果	指定管理者と連携し観光振興、利用者増加を図る。
------	-------------------------

経071	項目名	観光産業育成支援事業費
------	-----	-------------

主要な施策	観光産業育成支援事業費	ページ	39
-------	-------------	-----	----

所属名	経済観光部 観光コンベンション推進課
-----	-----------------------

年度	H25
----	-----

事業の概要

会計名	一般会計
款	商工費
項	商工費
目	観光費

【問合せ先】観光政策係 0857-20-3227

【9次総の施策体系】5201

【予算上の経過】
 予算事業別概要目次
 当初予算・P239（経080）

【事業の概要】
 基幹産業としての観光産業を確立するために、観光事業者が行う観光施設整備・改修事業や観光客の誘客・広報宣伝への取組みに対し支援を行った。

【事業の成果】
 観光事業者が行う観光施設整備・改修事業や観光客の誘客・広報宣伝への取組みに対して11件の補助を行った。
 平成23年度 33件
 平成24年度 24件
 平成25年度 11件

【今後の課題・方向性】
 補助制度を有効に活用していくため、必要に応じて補助要件や補助対象の見直しを実施していく必要がある。

(単位:千円)

当初予算額	3,000
-------	-------

補正予算額	0
-------	---

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	3,000
-------	-------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

本年度決算額	2,983
--------	-------

区分	決算額	
財源内訳	国・県支出金	0
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	2,983
	計	2,983

(参考)

前年度決算額	14,977
--------	--------

評価結果	広域宣伝や環境整備への投資が、ただちに効果を発揮して観光客の増加につながることは難しいが、観光客のニーズや旅行実態に合わせて迅速に対応することは必要である。市が一部支援することによって事業が積極的に進められることもあり、実施状況を確認しながら補助対象などを検討していきたい。
------	---

経072	項目名	観光施設運営事業費特別会計へ繰出
------	-----	------------------

主要な施策	観光施設運営事業費特別会計へ繰出	ページ	39
-------	------------------	-----	----

所属名	経済観光部 観光コンベンション推進課
-----	-----------------------

年度	H25
----	-----

事業の概要

会計名	
一般会計	
款	商工費
項	他会計繰出
目	観光施設運営事業費特別会計へ繰出

【問合せ先】観光政策係 0857-20-3227

【9次総の施策体系】5201

【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 12月補正予算・P63（経013）

【事業の概要】
 観光施設運営事業費特別会計への繰出し金

【事業の成果】
 平成23年度 54,268千円
 平成24年度 56,290千円
 平成25年度 58,181千円

【今後の課題・方向性】
 観光施設運営事業費特別会計における起債償還について、山紫苑整備事業債が平成26年度で終了、浜村温泉館整備事業債が平成30年度で終了することに伴い、繰出額も減少。

(単位:千円)

当初予算額	54,635
-------	--------

補正予算額	3,633
-------	-------

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	58,268
-------	--------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

本年度決算額	58,181
--------	--------

区分	決算額	
財源内訳	国・県支出金	0
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	58,181
計	58,181	

(参考)

前年度決算額	56,289
--------	--------

評価結果	特別会計の起債償還について、山紫苑整備事業債が平成26年度で終了、浜村温泉館整備事業債が平成30年度で終了することに伴い、繰出額も減少。
------	--

経073	項目名	砂像製作事業費
------	-----	---------

主要な施策	観光活動費	ページ	39
-------	-------	-----	----

所属名	経済観光部 鳥取砂丘・ジオパーク推進課
-----	------------------------

年度	H25
----	-----

会計名	一般会計
款	商工費
項	商工費
目	観光費

(単位:千円)	
当初予算額	129,981

補正予算額	△ 14,378
-------	----------

予算流・充用額	2
---------	---

最終予算額	115,605
-------	---------

本年度決算額	115,121
--------	---------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	115,121
一般財源	0
計	115,121

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	115,121
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

<p>事業の概要</p> <p>【問合せ先】鳥取砂丘・ジオパーク推進課 0857-20-3036 【9次総の施策体系】5201 【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P138(経057)、6月補正予算・P14(経004) 12月補正予算・P31(経014)</p> <p>【事業の概要】 平成18年度に「砂の美術館第1期展示」を開催。平成23年度に世界初となる全天候型の砂像展示施設の整備を行った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">＜砂の美術館開催実績＞</th> <th>作品テーマ</th> <th>来場者数</th> <th>開催日数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成18年度</td> <td>第1期展示</td> <td>イタリア・ルネサンス</td> <td>110,962人</td> <td>47日</td> </tr> <tr> <td>平成20年度</td> <td>第2期展示</td> <td>世界遺産・アジア編</td> <td>322,197人</td> <td>253日</td> </tr> <tr> <td>平成21年度</td> <td>第3期展示</td> <td>砂で世界旅行・オーストリア編</td> <td>170,679人</td> <td>108日</td> </tr> <tr> <td>平成22年度</td> <td>第4期展示</td> <td>砂で世界旅行・アフリカ</td> <td>414,323人</td> <td>257日</td> </tr> <tr> <td>平成24年度</td> <td>第5期展示</td> <td>砂で世界旅行・イギリス</td> <td>526,768人</td> <td>268日</td> </tr> <tr> <td>平成25年度</td> <td>第6期展示</td> <td>砂で世界旅行・東南アジア編</td> <td>555,355人</td> <td>261日</td> </tr> </tbody> </table> <p>また第7期展示「砂で世界旅行・ロシア編」開催に向けた砂像の制作を実施する。</p> <p>【事業の成果】 ・第6期展示集客イベント開催(公開制作、カボジア舞踊、3Dプロジェクションマッピング等) ・第6期展示経済効果 133億6千万円、宣伝効果 6億4千万円 ・第7期展示開催に向けた準備(砂像制作・展示準備)</p> <p>【今後の課題・方向性】 砂像の展示や集客イベント、満足度向上に向けた各種環境整備等の実施を通じて県外客の滞在型観光の促進による地域経済の活性化や市民の更なる来場促進を図る。</p>	＜砂の美術館開催実績＞		作品テーマ	来場者数	開催日数	平成18年度	第1期展示	イタリア・ルネサンス	110,962人	47日	平成20年度	第2期展示	世界遺産・アジア編	322,197人	253日	平成21年度	第3期展示	砂で世界旅行・オーストリア編	170,679人	108日	平成22年度	第4期展示	砂で世界旅行・アフリカ	414,323人	257日	平成24年度	第5期展示	砂で世界旅行・イギリス	526,768人	268日	平成25年度	第6期展示	砂で世界旅行・東南アジア編	555,355人	261日
＜砂の美術館開催実績＞		作品テーマ	来場者数	開催日数																															
平成18年度	第1期展示	イタリア・ルネサンス	110,962人	47日																															
平成20年度	第2期展示	世界遺産・アジア編	322,197人	253日																															
平成21年度	第3期展示	砂で世界旅行・オーストリア編	170,679人	108日																															
平成22年度	第4期展示	砂で世界旅行・アフリカ	414,323人	257日																															
平成24年度	第5期展示	砂で世界旅行・イギリス	526,768人	268日																															
平成25年度	第6期展示	砂で世界旅行・東南アジア編	555,355人	261日																															

(参考)	
前年度決算額	107,992

評価結果	世界初の砂像展示専門の美術館という唯一無二の特性を最大限に活かし、世界トップレベルの砂像彫刻家により制作される“砂像”の魅力を最大限に発信し、「砂像のまち鳥取市」の積極的な推進を図る。 また、利用料金制への移行など外部委託等も検討し、より効率的かつ積極的な事業の遂行を考えていく必要がある。
------	--

経074	項目名	「砂像のまち鳥取」推進事業費
------	-----	----------------

主要な施策	観光宣伝事業費	ページ	39
-------	---------	-----	----

所属名	経済観光部 鳥取砂丘・ジオパーク推進課
-----	------------------------

年度	H25
----	-----

事業の概要

会計名	一般会計
款	商工費
項	商工費
目	観光費

(単位:千円)	
当初予算額	4,812

補正予算額	318
-------	-----

予算流・充用額	398
---------	-----

最終予算額	5,528
-------	-------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	5,522
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

本年度決算額	5,522
--------	-------

区分	決算額	
財源内訳	国・県支出金	0
	地方債	0
	その他	5,522
	一般財源	0
計	5,522	

【問合せ先】鳥取砂丘・ジオパーク推進課 0857-20-3036

【9次総の施策体系】5201

【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 当初予算・P143 (経067)

【事業の概要】
 鳥取市の新たな観光ブランドとなった「砂像」を広くPRし、「砂像のまち鳥取市」を県外客や市民に広くに情報発信する。

【事業の成果】
 九州を代表する観光地「ハウステンボス」で開催のガーデニングWCに砂像を特別展示し全国都市緑化フェアと合わせ本市への誘客と砂像の魅力を広くPRした。
 展示期間 10月12日(月)～12月31日(火)

【今後の課題・方向性】
 砂像に対する市民意識の更なる向上と県外にまだ十分浸透していない砂の美術館や砂像の魅力を発信できるよう事業展開を検討する必要がある。

(参考)

前年度決算額	11,609
--------	--------

評価結果	「砂像のまち鳥取」の推進に関しては砂の美術館を中心に砂像を活かしたまちづくりの推進が基本となる。これまで以上の市民参画が図れるための取組の強化と本市へ更なる誘客を図るべく、県内外での砂像の制作・展示も砂の美術館への誘客と合わせ一体的かつ戦略的に展開していく必要がある。
------	--

経075	項目名	鳥取砂丘新発見伝事業負担金
------	-----	---------------

主要な施策	各種団体補助金負担金	ページ	39
-------	------------	-----	----

所属名	経済観光部 鳥取砂丘・ジオパーク推進課
-----	------------------------

年度	H25
----	-----

会計名	一般会計
款	商工費
項	商工費
目	観光費

(単位:千円)	
当初予算額	15,000

補正予算額	△ 3,000
-------	---------

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	12,000
-------	--------

本年度決算額	10,738
--------	--------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	0
一般財源	10,738
計	10,738

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

事業の概要	<p>【問合せ先】鳥取砂丘・ジオパーク推進課 0857-20-3036</p> <p>【9次総の施策体系】5201</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P145 (経072)</p> <p>【事業の概要】 鳥取砂丘再生会議利活用部会が実施する「鳥取砂丘新発見伝事業」が、鳥取砂丘における民間主導のイベント開催を公募・審査し、イベント開催を支援することにより、県・市及び民間が一体となって砂丘観光の活性化を図るもの。</p> <p>【事業の成果】 平成25年度において、「鳥取砂丘イリュージョン」のほか、「睡蓮の花とミズクラゲの多鯰ヶ池を楽しむカヌー」「サンドボード選手権大会」など合計11イベントが開催された。実績額10,738千円。 平成23年度 実施イベント数 9事業、実績額14,611千円 平成24年度 実施イベント数 10事業、実績額12,099千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 鳥取砂丘の景観や自然を活かした魅力的なイベントへ支援できるよう、幅広く鳥取砂丘新発見伝という制度そのものの情報発信を行う必要がある。</p>
-------	--

(参考)	
前年度決算額	12,099

評価結果	鳥取砂丘の景観や自然を活かした魅力的なイベントへ支援できるよう、幅広く鳥取砂丘新発見伝という制度そのものの情報発信を行う必要がある。また、平成25年度までは本事業によって鳥取砂丘イリュージョンへの支援を行ってきたが、冬の砂丘の主要な観光資源として継続開催が望まれることから、平成26年度からは単独の補助金として支援することとしている。
------	---

経076	項目名	砂の美術館管理運営費
------	-----	------------

主要な施策	観光施設整備事業費	ページ	39
-------	-----------	-----	----

所属名	経済観光部 鳥取砂丘・ジオパーク推進課
-----	------------------------

年度	H25
----	-----

事業の概要

会計名	一般会計
款	商工費
項	商工費
目	観光費

【問合せ先】鳥取砂丘・ジオパーク推進課 0857-20-3036

【9次総の施策体系】5201

【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 当初予算・P147（経076）

【事業の概要】
 観光情報発信施設として整備した鳥取砂丘情報館サンドパルとっとりは、平成17年4月にオープンし、砂丘を訪れる観光客に様々な観光情報を提供している。
 平成17年10月から指定管理者制度へ移行し、平成20年度からは「砂の美術館」管理運営業務も行っている。

【事業の成果】
 指定管理者制度導入で、管理経費の縮減と民間知識活用によるサービスの向上を図り、地域産業の発展と観光の振興に寄与した。
 指定管理者：（一社）鳥取市観光コンベンション協会
 平成23年度 16,662千円
 平成24年度 77,904千円
 平成25年度 85,012千円

【今後の課題・方向性】
 砂の美術館と鳥取砂丘情報館サンドパルとっりのより一層の一体的かつ戦略的な管理運営を図るべく、これまで以上の顧客満足度向上のための館内環境の充実や人材の養成などが求められる。

(単位:千円)

当初予算額	81,288
補正予算額	4,250
予算流・充用額	△120

最終予算額	85,418
本年度決算額	85,012

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	85,012
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	85,012
一般財源	0
計	85,012

(参考)

前年度決算額	77,904
--------	--------

評価結果 鳥取砂丘情報館サンドパルとつとりと砂の美術館はいずれも本市を代表する観光地「鳥取砂丘」にあり、注目度の非常に高い施設である。指定管理者制度の導入により管理コストの縮減はもちろん、サービスの提供による顧客満足度の向上など、より一層の充実が求められる。

経077	項目名	砂丘管理事業費
------	-----	---------

主要な施策	鳥取砂丘管理事業費	ページ	39	所属名
-------	-----------	-----	----	-----

年度	H25
----	-----

会計名	
一般会計	
款	商工費
項	商工費
目	観光費

(単位:千円)	
当初予算額	23,253

補正予算額	△ 613
-------	-------

予算流・充用額	△ 99
---------	------

最終予算額	22,541
-------	--------

本年度決算額	21,212
--------	--------

区分		決算額
財源内訳	国・県支出金	815
	地方債	0
	その他	20,397
	一般財源	0
計		21,212

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	17,663
手数料	0
財産収入	100
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	2,634
その他	0

事業の概要

【問合せ先】鳥取砂丘・ジオパーク推進課 0857-20-3036

【9次総の施策体系】5201

【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 当初予算・P239（経078）、12月補正予算・P61（経015）

【事業の概要】
 鳥取砂丘周辺を訪れる観光客の受入れ環境を整備し、また砂丘周辺の環境を適切に管理することを目的に、以下の事業を実施した。
 1. 砂丘周辺の景観保全、清掃、ゴミ処理等
 2. 市営砂丘駐車場等、砂丘周辺施設への負担金及び借上、維持修繕
 3. 鳥取砂丘周辺の渋滞対策

【事業の成果】
 鳥取砂丘再生会議などと協働し、砂丘除草や漂着ゴミ回収などの砂丘の環境保全を実施した。また、ゴールデンウィークに砂丘周辺渋滞対策のため交通整理員・誘導看板の設置、臨時駐車場等への車両誘導などにより、渋滞緩和を図った。（4/27-5/6入込：約26万人）
 平成23年度 17,897千円
 平成24年度 28,570千円
 平成25年度 21,212千円

【今後の課題・方向性】
 1. 砂丘周辺の景観保全については、景観に与える影響を最小限に止めながら、有識者等の意見をよく聴き取り、慎重に事業を継続していくことが必要である。
 2. 鳥取砂丘周辺の渋滞対策は、交通網の整備等で更なる観光客増が期待され、特に入込が集中するゴールデンウィークの交通渋滞対策は、臨時駐車場の増設検討を含め道路・交通行政関係機関・バス事業者・地元業者と連携を密に図りながら実施する必要がある。

(参考)

前年度決算額	28,570
--------	--------

評価結果	今後も、良好な砂丘の景観を保全し、鳥取砂丘の受入環境を整備することにより、快適な観光ができる状態にするために事業を継続していく必要がある。
------	---

経078	項目名	砂の美術館駐車場整備事業
------	-----	--------------

主要な施策	鳥取砂丘管理事業費	ページ	39
-------	-----------	-----	----

所属名	経済観光部 鳥取砂丘・ジオパーク推進課
-----	------------------------

年度	H25
----	-----

事業の概要

会計名	一般会計
款	商工費
項	商工費
目	観光費

【問合せ先】鳥取砂丘・ジオパーク推進課 0857-20-3036

【9次総の施策体系】5201

【予算計上の経過】
 予算事業別概要目次
 6月補正予算・P15（経005）

【事業の概要】
 砂の美術館駐車場を整備し、砂の美術館来場者の利便性を高めることで、来場者を増加させ、砂丘全体の入込客の増加をめざす。また、砂丘商店街方面への接続歩道を整備することで、砂丘東側への誘導を行う。

【事業成果】
 鳥取砂丘砂の美術館展望駐車場整備 駐車台数 乗用車186台、バス6台
 砂丘接続歩道整備 延長96.0m

【今後の課題・方向性】
 メンテナンス及び維持管理については、指定管理者にて実施する。

(単位:千円)

当初予算額	0
-------	---

補正予算額	157,352
-------	---------

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	157,352
-------	---------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	13,670
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

本年度決算額	142,870
--------	---------

区分	決算額	
財源内訳	国・県支出金	0
	地方債	129,200
	その他	13,670
	一般財源	0
計	142,870	

(参考)

前年度決算額	0
--------	---

評価結果	鳥取砂丘砂の美術館展望駐車場は、砂の美術館来場者と鳥取砂丘来訪者を対象とした無料駐車場であり、利用者の利便性を高めることで、砂の美術館の来場者の増加と鳥取砂丘全体の入込客の増加に期待するものである。平成26年5月のゴールデンウィーク期間中、さっそくに渋滞緩和に貢献したところである。今後、メンテナンス及び維持管理について指定管理者へ委託する。
------	---

経079	項目名	山陰海岸ジオパーク事業費
------	-----	--------------

主要な施策	山陰海岸ジオパーク事業費	ページ	39
-------	--------------	-----	----

所属名	経済観光部 鳥取砂丘・ジオパーク推進課
-----	------------------------

年度	H25
----	-----

会計名	一般会計
款	商工費
項	商工費
目	観光費

(単位:千円)	
当初予算額	26,164

補正予算額	△ 490
-------	-------

予算流・充用額	△ 179
---------	-------

最終予算額	25,495
-------	--------

本年度決算額	23,727
--------	--------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	1,614
地方債	0
その他	22,113
一般財源	0
計	23,727

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	14,756
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	7,355
諸収入	2
その他	0

<p>事業の概要</p> <p>【問合せ先】鳥取砂丘・ジオパーク推進課 0857-20-3036</p> <p>【9次総の施策体系】5201</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P150(経081)、6月補正予算・P15(経006)、 12月補正予算・P32(経014)</p> <p>【事業の概要】 1 山陰海岸ジオパーク推進のため保護・保全、教育、産業振興、観光振興、情報収集・発信に関する各種取り組みを行う。 2 エリア拡大へ向けた機運向上のため、拠点施設へのパネル展示を行う。</p> <p>【事業の成果】 これまでの山陰海岸ジオパークの取り組みが評価され、平成25年12月、エリア拡大地域が日本ジオパークに認定された。併せて4年毎に行われる既存エリアの再認定も果たした。(エリア拡大地域:旧気高郡の全域、旧鳥取市及び旧河原町の一部) (1) 保護・保全に関する取組み……一斉清掃等市民活動の支援など (2) 教育に関する取組み……地区公民館等による出前講座・現地学習会の支援など 小中学校による出前講座及び校外学習の支援など (3) ジオツーリズムに関する取組み……体験型ツアー商品の造成支援など (4) ジオガイドの育成……ガイド研修会・交流会の実施など (5) 山陰海岸ジオパーク全域の取組み……ジオパークフォーラム、フェスティバルなど 平成23年度 14,101千円、平成24年度 22,771千円、平成25年度 23,727千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 平成26年度は、4年毎の世界ジオパークによる既存エリアの再認定審査と、エリア拡大地域の認定審査が行われるため、各種取り組みの更なる強化が必要。</p>

(参考)	
前年度決算額	22,771

評価結果	世界ジオパーク再認定とエリア拡大の認定を平成26年に控え、地元機運は高まってきているが、まだまだジオパークを活用した経済効果を高めるための投資環境や、周辺地域での認知度が満足ではない。今後さらに取組みを強化し世界ジオパーク認定を達成し、平成27年には、山陰海岸ジオパークで開催される国際会議に成功し、さらなる飛躍を目指したい。
------	---